

おんじゆく

第222号

町勢特集号

(昭和57年3月発行)



はじめに

一九八一年の最後をかざる「町勢特集号」を発行します。この特集号は毎年一回その年の町政のあゆみを、数字を中心に編集しみなさんにお知らせするものです。資料をよせられた関係機関のみなさんにお礼申しあげます。

国の内外を問わず数多くの問題を抱えながらも、いま社会は、地方の時代に向かって着実に動き出しています。

そして一九八二年の新しい行政の視点は、行政中心の計画から地域住民の生活を主体とした地域振興へと移りつつあります。

我が町も、より確実性のある、信頼のおける行政を求めて将来あるべき御宿の姿を横索するための試みとして土地整備基本構想を近く公開し、住民の皆様にご検討いただく運びとなっています。

一年を振り返りますと、まず農



御宿町長 高梨秀治

現状を踏まえ、自然との調和を考えた通年観光へ、そして地域商工振興のためにはなんとしても現在進行中の大型開発を早期に実現し関係皆様のご期待に応えなければならぬと考えています。

次に、住民から数多く寄せられる要望の中で最も多い道路建設関係につきましては、本町は二十三箇所実施いたしました。これからも可能な限り計画的に要望に応え、新設改良舗装工事を進めてまいります。

また環境美化の面ですが、塵芥処理場の建設については、年度当初、大原町が新規に処理場を作るにあたりA B地区の開発区域を含めた、御宿町のごみの協同処理の呼びかけがありました。企業庁を仲介として昭和五十六年中に数回にわたる両町現場担当者たちの協議の過程で、御宿の夏の観光の特殊な事情とあまりにも膨大なゴミの量が、当初大原町が想定した御宿町のゴミの量をはるかに上回るものであることが確認され、大原町の施設では協同処理は物理的に無理であるとの結論に達しました。このため約一年、計画の実施が繰り延べとなりましたが、本年から環境アセスメント調査等を実

着しつつある商工観光の面につきましても、近年、観光客の嗜好は見る観光から参加する観光、プレイする観光へと移行しつつあるのが現状です。また、都市化の波に乗って進出が予想される大型店対策等につきましても、いろいろな機関で検討しています。これらの

施して町単独で建設計画に着手することにいたしました。

次に、社会体育の面におきましては、B & G財団による海洋センターの建設が決まり、昭和五十七年度から体育館を中心にプールを加えての運営が開始されます。この施設を町民皆さんの施設として大いに活用を願い、スポーツを通じて健康づくりと心の通う交流の場といたく考えます。

教育については、学校施設の面で布施小体育館の新設、御宿・岩田田各小中学校施設の改善も予定通り実施し、施設の充実をはかっています。

社会福祉につきましては、待望久しかった国保国吉病院への加入

も議会の承認を得て正式に決まりました。このことにより夷隅五町の連帯がさらに強化され、広域行政に向かつて一段と夷隅の結束を固めたものです。

今後、国保国吉病院が夷隅地区の公立病院として、よりサービスを向上しその真価を発揮され、地方医療のため貢献されることを心から切望するものです。

ここに一年の総決算、町勢特集号をお届けいたします。次年度も町諸行事に積極的に皆さんの参加をお願いし、明るい健康な町づくりに邁進する決意でありますので、なにとぞ住民皆様の格別のご理解とご協力をお願いいたします。

行政

うるおいのある町づくり

御宿町は地理的にみて、繁栄の要

素を多くもっていますが、これも放つておいて自然発生的に繁栄するものではなく、将来を見通した行政を実施することが必要です。

現在、都市整備基本構想として、現状認識とその実態を見極め、将来あるべき町の理想像を作成中

す。

●豊かで安定した産業の基盤づくり

●観光と開発で活力ある町づくり

●町ぐるみで健康な町づくり
以上を五十七年度の実施重点目標として、健康で明るい町づくりをすすめます。

財政

効率化と節度ある

財政運営

地方経済は、昭和五十年年度以降の収支不均衡の状態からぬけきらず、ひき続き巨額の財源不足が見込まれます。

変動する国際情勢、資源エネルギーの制約からみて、わが国経済

の動向は予断を許さず、地方財政は大幅な自然増収を期待することの出来ない厳しい情勢にあります。

このような情況下において、国は、昨暮りに行革特例法案の成立を見、徹底した行政改革の断行に

より、行政経費の節減をはかり、地方財源の長期安定的な充実確保をはかることを強調しています。

町でもこれに対応すべく、歳入面においては、住民負担の適正合理化に配慮しつつ、徹底した見直しを行うことにより、地方財政の確保を図り起債発行額を縮減する

ことに努めます。

歳出においては、経費全般についての徹底した節減合理化を計り、住民福祉の充実、住民生活に直結した生活関連施設整備を図るため限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に徹し、節度ある財政運営をすすめています。

総合開発

自然との調和

規律ある開発

美しい自然景観と温暖な気候に恵まれた御宿町は、常に自然との調和を考えた町づくりが要求され、さらには年間を通じての観光地づくりという目標を持った行政が望まれています。

その考えに立ち、現在千葉県企業庁により、夷隅開発事業が着手されています。

この事業の完成により、定着人口の増加、通年型観光への脱皮、水道事業の安定と様々な波及効果が期待されます。御宿・大原両町に跨がるA地区は、昭和五十三年に着工され、高山田地先のゴルフ

場は、今年秋オープンされる予定です。またこの開発事業の主軸であるB地区は、百五十ヘクタールの広大な自然の中に、ゆとりある生活環境をもった街創りがおこなわれようとしています。千八百五十戸の住宅とレクリエーション・公園施設が建設されます。このB地区は、国道からの進入路工事が

開始され、地区内の用地買収の完了が待たれています。難航する用地交渉の中で、既に三百人を越える地主の理解を得たB地区を、一日も早く実現する為、もう一度町民の皆さんの御協力をお願いします。



オープンまじかなA地区ゴルフ場

56年のあゆみ

| 12月 | 11月 | 10月 | 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2月 | 1月 |
|---------------|-----------------------------|----------------------------|----------------------------|------------------------------|----------------------|---------------------|-------------|--------------------------------|---|----------------------|---|
| 17日 6日 | 10日 3日 1日 | 10日 | 25日 15日 10日 7日 | 10日 | 29日 5日 | 18日 | 24日 | 4日 7日 6日 5日 | 10日 8日 | 21日 11日 | 28日 22日 15日 7日 5日 1日 |
| 定例議会(会期5日・6日) | 消防団町内パレード 第二回臨時議会 文化祭 | 第四回消費生活展 御宿町体育祭 定例議会 | 敬老会 定例議会 布施小学校体育館起工式 | ブルーシーランドグリーンランド財団御宿海洋センター起工式 | 第二回臨時議会 野沢温泉村中学来町 | 御宿ラール開き 海ご山の子交流会 | 溜開き 定例議会 | 御宿中学校入学式 御宿中学校入学式 保育所入所式 | 定例議会(会期6日・8日) 参議院議員補欠選挙 消防団備後火災訓練 | 郡一同駅伝大会 消防団備後火災訓練 | 成人式 成人祝賀マラソン大会 第一回臨時議会 海ご山の子交流会 御中一年生野沢温泉村へ出発 |

スーパーと消費者



消費生活展から

大型店は、大量生産、大量販売によるスケールメリットを生かしながら、ムダを削減し安い商品を消費者に提供するために誕生し、消費者ニーズを先取りする形でその基礎を確立してきました。しかし、ここに来て消費生活の急激な変化に対応できなくなっているように思えます。最近の消費生活の実態は、四十八年のオイルショック、その後の経済の実質マイナス成長に象徴されるように消費需要は落ち込み、消費者の消費態度も、高度経済成長時代の「消費は美德」から「消費への挑戦―節約第一」へと、生活防衛のため大きく様変わりしています。大型店の多くは、このような消費者の購買力の低下による経営悪化を打開する方法として「ノーブランド商品」、「セービング」等の商品の開発、又地方への進出等が進められ、地方進出については地元商店街とのトラブルが続出している現状です。しかし、最近、消費者の間で、スーパーは必ずしも安くないという批判が出ています。消費者のくらは、年々、厳しさを増し、消費者の購買姿勢も、消費者意識の向上と相まって大きく変動しています。大型店、中小小売商ともに、特性

を十分生かし消費者の要望にきめ細かく応え、消費者側も人間らしい質の高い豊かな暮らしを維持するために消費者自身が消費生活を

より向上させていく知恵と判断力、態度を身につけるようにしたいものです。

建設

日常生活をささえる

道路

私たちが家から一歩外へ出ると道路です。このように日常生活で最も身近に利用されている公共施設、特に道路は、通勤通学・災害時の救助活動・電気電話・水道管の埋設・生産物の搬出・下水道がわりの排水（側溝）等、地域住民にとって必要不可欠のものである為、依然として各区や部落の要望事項の大半が道路整備等の土木事業に集中しています。このような要望に沿って、昭和五十六年度に実施した建設事業（土木費）は総額約二億二千五百万円です。この内、主な事業を挙げると、国や県からの補助事業では、今年度完成する小池高山田線舗装一千八百九十万円、須賀浜久保線道路改良一千二十九万円、昨年から継続で実施している須賀実谷線道路改良六千万円、債務負担行為で実施した河鹿橋橋梁整備三千六百万円、岩和

田関連道舗装九百三十八万円、河川改修事業は継続で実施している裾無川改修一千二百万円、上落合川改修一千二百万円、今年度から実施する堺川改修百四十五万円、農林道事業は丸山線林道舗装六百八十五万円、今年度完成する涼原林道開設一千五百万円、災害復旧が四箇所で一千万七千二百万円、住宅は、六軒町住宅の環境整備四百四十二万円、町の一般財源のみで実施する一般土木事業は四千六百八十八万円、二十三箇所の整備を実施した。以上が主な概要ですが、今後は老朽化した幹線の舗装及び排水の整備、支線的な脇路の整備を三ヶ年計画と並行して実施して行きます。



農業

地場産業の充実を

昭和五十六年度の農業関係の主なできごとをあげると、町の基幹作物である稲作については、八月二十三日の台風十五号の影響を受けコシヒカリを中心に倒伏の被害が目立ち、コシヒカリで一等の割合が三十%と今までになく悪い結果に終わりました。米の集荷状況は当初の限度数量八、一八〇俵を全量集荷し、更に八二・五俵の追加米を出す程で、一般的には台風の被害があったとは言え平年並であったと言えるでしょう。また集荷数量のうちコシヒカリの比率は三・四%と低く、米の消費拡大の為に

もコシヒカリの導入と種子更新に努めておいしい夷隅米の産価を高めていきたいものです。米の生産調整については、稲作農家の協力により、目標面積の大幅な増加があったにも拘わらず、実施面積四八・九ha、達成率一〇%と僅かですが達成することができました。昭和五十七年度は今年と同じく目標面積四八・三ha、限度数量八、一九二俵(〇・一%増)の割当てがありました。毎年厳しくなる水田利用再編対策ですが、国民食生活の嗜好の変化による米の消費減退から端を発してい

る政策ですので、御理解の上御協力をお願いします。また今年から御宿町においても農用地利用増進事業による農地の貸し借りの制度ができるようになります。この制度は従来、農地の貸し借りをを行う場合、農地法の許可が必要であったり、小作権の発生等、めんどろな手続きがありました。これらのことが省略され、農家の申し出により町が契約をまとめ、農業委員会の決定を経て公告することにより権利関係が発生します。そして、約束の期限が来れば自動的に貸借関係は解消され、お互いが希望すれば繰り返し利用できると思うものです。今後、農家の非農家化や土地基盤の充実に伴い農地の賃貸借が進むものと考えられますので、この制度を活用していきたいと思えます。

昭和五十六年度の農林関係の事業は、上布施地区団体営ほ場整備事業が新久井地区を中心に九・〇ha、五、〇五〇万円、林道涼原線の開設事業が今年度終了で三三・二m、一、五〇〇万円、林道丸山線舗装事業が三三・〇m、五七三万円、などがあります。昭和五十七年度についても土地基盤整備をはじめ、農村環境整備を促進するため、農

家の人々の話し合いや協力が望まれます。

漁業

安定経営を

めざして

最近、消費者の水産物に対する嗜好は多様化し中高級魚指向の傾向にあります。漁業経営安定を図るには、このような需要の動向に対応してゆかなければなりません。さいわいにして町で水揚げされる魚類の多くが中高級魚です。しかしながら、漁獲技術の進歩が著しいなかでは、これらの魚類にも限度があります。この資源の確保のため、魚礁の設置や、稚貝・稚魚の放流を計画的に実施し魚の住みやすい漁場を造ってゆかなければなりません。町では現在実施しているコンクリートブロックの投入や、アワビ稚貝の放流は今後も継続してゆく計画です。

さらに、総合的な水産業の体制づくりを推進するためには、漁港及び施設の整備が重要です。漁港の整備については、昭和五十七年度よりスタートする第七次漁港整備計画により、御宿漁港の全面改修を行ない安心して利用できる漁港づくりを目指してゆきます。施設の整備については、新沿岸漁業構造改善事業によりさらに充実した施設の整備を図ることにより、漁民の生活環境の整備も進めてゆきます。



生産調整がはかられる稲作

さらに、総合的な水産業の体制づくりを推進するためには、漁港及び施設の整備が重要です。漁港の整備については、昭和五十七年度よりスタートする第七次漁港整備

獲る漁業から育てる漁業への移行 (アワビの稚貝)



獲る漁業から育てる漁業への移行 (アワビの稚貝)

保育

幼児の交通安全

(保育所)

健康で安全な生活をするという

ことは、誰もが願うことです。年々、自動車が増加し歩行者・運転者相互の交通道徳に欠けることもあり交通事故が激増しています。

このような交通事情の下では幼

うちから交通道徳に対する理解と、適応する能力を身につけなければなりません。幼児期は年令的にも

経験が少なく運動機能も未発達で、その為に生じる事故もすくなくあ

りません。身の安全をはかるような運動機能の訓練・交通の規則を守らせるしつけの教育をくり返し

行う必要があります。保育所にお



次代をになう子供たち

きましても、リズムあそび、紙芝

居、腹話術、童話などを通して子

ども達にわかりやすく理解できる

よう呼びかけ次のような年間指導

計画のもとに毎月必ず実施してい

ます。

第一期 (四月～七月)

一、交通のきまりを知らせる。

●正しい歩行(道路の歩き方)

●乗りもののきまり(バス)

二、横断のしかたを知る。

●道路の渡り方

三、雨の日の安全な歩き方を知る。

第二期 (八月～十二月)

一、簡単な交通標識を理解し行動

する。

二、正しい歩行

三、安全の確認

●とび出し

●自転車のおそび

第三期 (一月～三月)

一、正しい歩行

●寒い日の歩き方

●凍った道

二、交通のきまりを守る

三、安全なあそび方、などです。

又時には大原警察署、役場関係者の協力を得まして、実際に園外に於て、「道路の横断」「交差点での信号の見方」「横断歩道の渡り方」などの指導を受けています。

しかし指導者のもとでは大変よく

理解しているかのように見えます

が、退所後あるいは休日など、幼

児の家庭でのようすをみてみます

と「大人がみていてくれる」「自

動車の方で止ってくれる」「自転

車のあそび」など大人をはらはら

させることが現実にはたくさん見ら

れます。子どもの事故は、住居よ

り半径二百メートル以内のものが

七〇％前後といわれていますが、

子どもが「どこで」「だれと」「何

をしているか」を親として知って

おくことも必要です。子どもの事

故で大部分は「とび出し」による

ものですが危険に出合う一歩前に

親をはじめ大人が考えなければな

らない指導の手だてがあるのでは

ないでしょうか。右側通行・歩く

速度・横断歩道の利用など、歩行

の基本を正しく身につけさせるこ

とや「危険だ」「止まるのだ」と

いうことを習慣化することも、大

切な行動の一つです。

又がまんすることは自分をおさえ

ることができるようになることで

事故防止にもつながります。聞き

わけのできる子どもに育てましょ

う。次に自転車でのあそびですが、

子どもにとって魅力的な新型の自

転車、友だちも買ったから僕にも

買ってとねだる子ども、あまりに

も安易に買い与えてはいないでし

ようか。ルールを知らない幼児、乗

車技術の不熟さは、一時停止をし

ないでおこるものが一番多いよう

です。自転車の安全な利用につい

教育

未来のにないてづくり

と生涯学習

▼義務教育施設 豊かな人間性と健全な心身を育成する学校教育の充実をめざして、小中学校の施設整備を進めています。昭和五十六

年度は、長年の懸案でした布施小

学校体育館建設も完了しました。

今後、更によい教育環境の整備

充実に努めます。

▼社会教育施設 心のかよう町づ

くりと生涯にわたって、生きがい

のある生活の実現をめざして、公

民館事業は盛んに活動しています。

体力づくりの場である、野球場・

テニスコートを一段と整備し、また、

B&G財団による体育館とプールの

導入により、どなたでも気軽に

スポーツが楽しめるようになりま

した。町の施設を大いにご利用くださ

ふえつつけるスポーツ人口



社会福祉

高齢化社会に 対処する福祉

地域社会に於ける福祉の動向はいよいよ多様化してきています。地域ぐるみ福祉も津々浦々に浸潤してきた今日、更に進んで国際身体障害者年と称し、大々計画を樹立しその目標に向かって進んでいます。町では、第一年は調査活動に重点をおき、関係団体と協議をし目標達成に努力中ですが、向こう十ヶ年の長期計画で主唱する社会完全参加と平等の主旨ですので、幅広く考え、活動が早期に実現することを常に望んでいます。

把握しておくことがその計画性に必要で、それに対する社会環境を整えておくことが大切です。

老齡化社会と生きがいづくり

福祉には、児童福祉に始まり母子福祉、精神薄弱者福祉、老人福祉、身体障害者福祉等幅広く、一口に言つてそれが大切かとは言いきれません。ただ、誰もがやがて自然にむかえるものは老齡化であり、年々増加の一途をたどる老齡人口は全国的にみてその数二〇%に及んでいます。我が町に於いても七〇才以上八二〇名、六十五才以上一、二〇〇名というより、年を追うに従い上昇の一途を辿っています。同じ福祉でも老人福祉の場合、自分自身が福祉を高め老人対策的なものを考え、地域社会の実情に応じ交流を保ちつつその途にまいしんすることが賢明です。日々の生活に考えられる老人の生き方、又家族関係の調和等を考え、ボケないように規則的な生活をし、そして自分の生甲斐を見出すことに努力することが望まれます。クラブ活動に参加することもその一つ。ふれあいの中に自分を見出し、お互い同士で福祉的施策を分かちあい、与え、与えられる心の福祉を展開してこそ老人福祉の価値感があらわれて来ることでしよう。

福祉行政は一定の枠の中にあるが、住民福祉は無制限に自由の中に存在している束縛のない自由の世界で、世のため人のために老人は老人としての歩み方を考え、若い人々と歩調を合わせることも必要です。

町の老人クラブでは最近、病にかからない運動と仲間づくりの会を推進しています。町の社会福祉センター、老人憩の間に於いて毎月期日を指定し、将棋の会、民謡の会、又グラウンドでゲートボールの会を催し、自由な参加を求めています。元氣一杯に多くの友達を作りその生きがいを求めている状況は、正に老齡化を防ぎ再び社会に勢力を還元するかのようになっています。奮つてこのような行事に参加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。

加しようではありませんか。



気軽に楽しめるゲートボール

一員、社会の一員として共に歩むことが出来るようにする。

第二は健康。健康を主とした活動は、身心ともに健康保持について知識を向上し必要なことを実行する。

第三は楽しみ。楽しみを主とした活動は、レクリエーション等楽しみながら健康に役立ち、教養を高め、明日への糧として行おう。

第四は地域社会の交流。これは地域の人々との交流によって相互に理解しあい、老人の能力を社会に役立てようとする。ボランティア活動もその一つです。何れも老人福祉の中のクラブ活動推進によって熟年時代を過すことが生甲斐に通じる心のもよりどころではないかと思われまます。

この福祉を高め調整してゆく、いわゆる連絡調整の場が社会福祉協議会です。人間幸せになるため、日頃望んでいる条件を満たしこれを整備することが福祉の役割であり、社会福祉は、地域住民の中に育まれ、行政に先きがけ行おう善意と行政につなげてゆく行為等、ほんとうに楽しい老後を送るために今一度それぞれの立場に於いて老人福祉を見直すことが肝要ではないでしょうか。



母子福祉大会から

町の老人クラブでは最近、病にかからない運動と仲間づくりの会を推進しています。町の社会福祉センター、老人憩の間に於いて毎月期日を指定し、将棋の会、民謡の会、又グラウンドでゲートボールの会を催し、自由な参加を求めています。元氣一杯に多くの友達を作りその生きがいを求めている状況は、正に老齡化を防ぎ再び社会に勢力を還元するかのようになっています。奮つてこのような行事に参加しようではありませんか。

町の老人クラブでは最近、病にかからない運動と仲間づくりの会を推進しています。町の社会福祉センター、老人憩の間に於いて毎月期日を指定し、将棋の会、民謡の会、又グラウンドでゲートボールの会を催し、自由な参加を求めています。元氣一杯に多くの友達を作りその生きがいを求めている状況は、正に老齡化を防ぎ再び社会に勢力を還元するかのようになっています。奮つてこのような行事に参加しようではありませんか。

町の老人クラブでは最近、病にかからない運動と仲間づくりの会を推進しています。町の社会福祉センター、老人憩の間に於いて毎月期日を指定し、将棋の会、民謡の会、又グラウンドでゲートボールの会を催し、自由な参加を求めています。元氣一杯に多くの友達を作りその生きがいを求めている状況は、正に老齡化を防ぎ再び社会に勢力を還元するかのようになっています。奮つてこのような行事に参加しようではありませんか。

町の老人クラブでは最近、病にかからない運動と仲間づくりの会を推進しています。町の社会福祉センター、老人憩の間に於いて毎月期日を指定し、将棋の会、民謡の会、又グラウンドでゲートボールの会を催し、自由な参加を求めています。元氣一杯に多くの友達を作りその生きがいを求めている状況は、正に老齡化を防ぎ再び社会に勢力を還元するかのようになっています。奮つてこのような行事に参加しようではありませんか。

国民健康保険

みんなでも守ろう

国保財政

わたしたちの国保と医療費について関心を、もっていらつしやいますか？

医療費は、毎年著しく増えつづけています。なぜ、どんどん増えるのでしょうか？

いろいろな原因が考えられますが、ひとつは諸物価の高騰・人件費の上昇によって生ずる医療費改訂による値上げがあります。

他には、おとしよりの医療費無料化による波及、成人病の増加、そして医学の進歩により高度な医療技術、制がん剤など高価な薬が開発されていることもあります。



血圧測定は健康のパロメーター

やむを得ない原因の他には、チヨツとしたケガや、風邪等で安易に医者にかかったり、病院を転々としたり、深夜・時間外の受診・往診を受けたりすることが、見受けられます。

医療費が増えると、増えた分に應じてみなさんが納められる保険税を値上げして医療費を補うことになっていきます。

増えつづける医療費に合わせて

保険衛生

明るい生活には

まず健康管理

健康で明るい生活は誰もが望んでいることです。一番大切な健康を、善段おろそかにしていませんか。

町では、住民の皆さんの健康管理を推進するために、住民検診、血圧測定、健康相談等、各種の施策を実施しています。

昭和五十六年度からは、住民健康診断に尿検査と血圧測定も加え

保険税を値上げしたのでは、みなさんの負担が大きくなり納税が大変です。

みなさんが医療費に関心をもち、ちよつとした心がけや、工夫で医療費が節約できるのではないでしようか。

健康ですこやかな生活を送ることがわたしたちの願いです。

日ごろから健康に十分注意し、定期的に健康診断を受けて病気に負けない体力づくりを心がけましょう。

わたしたちの国保が健全に運営され一層の充実を計るため、みなさんの御協力をお願いいたします。

完治も早く、医療費に苦しむことありません。

「自分の健康は自分で守る」ということが基本です。町で実施している検診をおおいに活用して、健康管理に努めましょう。

●血圧測定

毎月第二金曜日 公民館

●健康相談

上水道

便利な水道に

ご加入を

日頃、水道事業に格段のご理解とご協力を下さり誠にありがとうございます。

お蔭様で、水使用量や水道加入者がふえ、経営の面でも、いくらか明るい兆しがみられます。これも皆様方のご協力の賜と感謝申し上げます。

水道水や施設の面などでご意見や不都合がございましたら水道課へご連絡ください。

町(水道課)と個人の責任分担は別れておりますが、お客様の不便の解消に少しでもお役立てが出来ればと考えております。

ところで、いま県内の各市町では、水道加入金を改定したり

毎月第四木曜日
毎月二日 午前 実谷区民館
午後 新久井青年館

※休・祭日に急患が発生したら、休・祭日テレホンサービスセンターへ連絡下さい。

☎〇四七〇六一三〇四一一

(診療時間午前九時～午後五時まで)

値上げの検討をしている団体が多く、当町の加入金と大分開きのでているところも多く見受けられます。

当町では、お客様の立場に立つて、いましばらく改定を考えずにごんばつていきたいと思っております。

ひとりでも多くの人に水道の便利さ、有利さをご理解していただき、経営の改善を考え、地域のみなさまの福祉の向上のために役に立ちたいと考えておりますので未加入のご家庭では、水道加入についてご検討下さいませようお願い申し上げます。

55年度決算

●55年度決算で一㎡(トン)当



りの原価は、六百五十二円です。
この水を一m³百二十円で販売して
おりこの結果五千七百七十五万九千
円の赤字決算となりました。

●損益分岐点は一億六千二百万円
売上高は九千七百三十六万八千
円で、このうち、水道の売上げ高
は二千七百五十七万二千円です
から、水道料金だけで、損益分岐点
に達するまでには、一億三千四百
万円必要。

売上高全体では、六千五百万円
の売上増が必要となります。

業務(2)

| 一 月 当 り | | | |
|-----------------------------|----|--------|--------|
| 項目 | 年度 | 55 | 54 |
| 最大配水量 (千m ³) | | 38 | 25 |
| 平均配水量 (千m ³) | | 19 | 13 |
| 平均給水収益 (千円) | | 2,298 | 1,587 |
| 平均給与費 (千円) | | 2,231 | 1,782 |
| 平均収入額 (3条) (千円) | | 8,114 | 8,021 |
| 平均支出額 (3条) (千円) | | 12,427 | 11,870 |
| 平均支払利息 (千円) | | 3,369 | 3,358 |
| 平均電力料 (千円) | | 419 | 283 |
| 平均加入戸数 (戸) | | 16 | 9 |

費用構成比率 (%)

| 項目 | 年度 | 55 | 54 |
|-------|----|----|----|
| 職員給与費 | | 18 | 16 |
| 支払利息 | | 27 | 30 |
| 減価償却費 | | 38 | 41 |
| 動力費 | | 3 | 3 |
| 薬品費 | | 1 | 1 |
| その他 | | 13 | 9 |

業務(1)

| 一 日 当 り | | | |
|----------------------------|----|---------|---------|
| 項目 | 年度 | 55 | 54 |
| 配水能力 (m ³) | | 5,985 | 5,985 |
| 最大配水量 (m ³) | | 1,694 | 1,329 |
| 平均配水量 (m ³) | | 634 | 441 |
| 平均給水収益 (円) | | 75,539 | 52,028 |
| 平均給与費 (円) | | 73,341 | 58,432 |
| 平均収入額 (3条) (円) | | 266,761 | 262,997 |
| 平均支出額 (3条) (円) | | 408,567 | 389,170 |
| 平均支払利息 (円) | | 110,765 | 110,085 |
| 平均電力料 (円) | | 13,772 | 9,271 |

経営分析(3) (%)

| 項目 | 年度 | 55 | 54 |
|-------|----|------|------|
| 施設利用率 | | 10.6 | 7.4 |
| 最大稼働率 | | 23.8 | 22.2 |
| 負荷率 | | 37.5 | 33.2 |

経営分析(4) (円銭)

| 一 m ³ 当 り | | | |
|----------------------|----|--------|--------|
| 項目 | 年度 | 55 | 54 |
| 供給単価 | | 131.30 | 127.92 |
| 給水原価 | | 651.88 | 896.57 |
| 資本費 | | 462.79 | 641.75 |
| 給与費 | | 127.48 | 143.67 |

●水道事業決算ダイジェスト

防災

かけがいのない 生命財産を守るために

私たちは、いつも危険と隣り合わせであることを忘れてがちです。いつ起こるともわからない天災による被害を未然に、最小限にとどめるためには、日ごろからの防災体制が必要です。

本町では、防災対策として、国県事業の、ガケくずれ防止事業、急傾斜崩壊防止事業や、消防施設の充実、交通事情に合わせ交通安全施設(カーブミラー、水銀燈、標識等)の設置を推進しています。

火災の時に備え、近くにある消防車の位置を知っておくことも大切です。

●消防 本町の消防団は八分団二百六十五名の消防団員で形成され町内の安全を守っています。

でも、一秒をあらそうような緊急事態には、町や消防団、警察でもあなたを危険から救うことができない状況もありえます。

自分の生命財産は自分で守るという心構えが最も必要です。

万一に備え防災点検をしましょう。

火栓の位置を知っておくことも大切です。

消防車が来るまで 消火せんで

◎取扱い方法

①火災現場近くの消火せんとホース格納箱(赤い箱)を確認する。

(消火せんと空気弁がありますので、まちがえないようにしましょう)

②消火せんのふたをあけ、開閉棒をとりつける。

③ホースと筒先をとりつけて、消火体制をとる。

この時、とても高い水圧ですので二人以上でもつようにし、

またホースのとりつけ口を確認します。(確認をおこたると大ケガのもとになります)

④開閉棒で消火せんをゆっくりひらく(厳守)

(火災現場に放水、消火をする。消火せんを締める場合もゆっく

り締めるようにする。

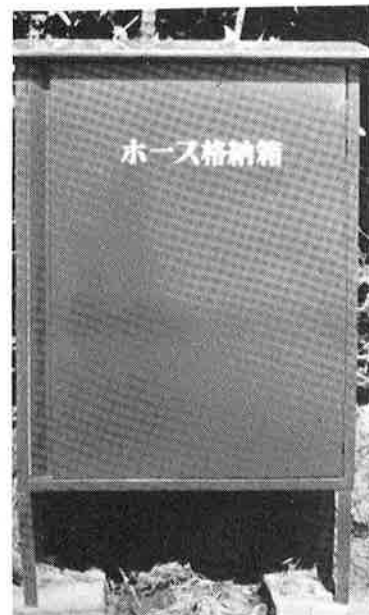
※格納箱には次のような道具が準備されています。

①ホース三本(一本二〇m)

②消火せんのふた開閉棒

③消火せん開閉棒

④ホースの筒先



町内46ヶ所に設置されている消火せん

| 番号 | 消火せん所在地 | 部落 | 分団 |
|----|-------------|-----|----|
| 1 | 元湯温泉 | 浜 | 4 |
| 2 | 式田み | 浜 | 4 |
| 3 | 大谷福 | 浜 | 4 |
| 4 | 米本良司 | 浜 | 4 |
| 5 | 春日莊前海 | 浜 | 4 |
| 6 | はまや | 浜 | 4 |
| 7 | 浅野司 | 浜 | 4 |
| 8 | 渡辺文太 | 須賀 | 4 |
| 9 | 鶴岡 | 須賀 | 4 |
| 10 | 伊藤治 | 須賀 | 4 |
| 11 | 本吉 | 須賀 | 4 |
| 12 | 佐伯 | 須賀 | 4 |
| 13 | 渡辺み | 須賀 | 4 |
| 14 | 須賀三ツ | 須賀 | 4 |
| 15 | 滝口清次 | 須賀 | 4 |
| 16 | 日高五郎 | 須賀 | 4 |
| 17 | 中央海岸駐車場料金所 | 須賀 | 4 |
| 18 | 君塚磐 | 久保 | 1 |
| 19 | 大地 | 久保 | 1 |
| 20 | 井上 | 久保 | 1 |
| 21 | 天津英 | 久保 | 1 |
| 22 | 白鳥由 | 久保 | 1 |
| 23 | 御宿中踏切寄道 | 久保 | 1 |
| 24 | 南畑 | 久保 | 1 |
| 25 | 秋葉 | 新町 | 2 |
| 26 | 滝口松 | 新町 | 2 |
| 27 | 伊藤勘 | 新町 | 2 |
| 28 | 鈴木木 | 新町 | 2 |
| 29 | 大竹恒 | 新町 | 2 |
| 30 | 天の守・熊谷喜 | 新町 | 2 |
| 31 | 鶴岡喜 | 新町 | 2 |
| 32 | 松下弘 | 新町 | 2 |
| 33 | 水谷印 | 新町 | 2 |
| 34 | 板垣健 | 六軒町 | 3 |
| 35 | 鷹中 | 六軒町 | 3 |
| 36 | 長田金 | 六軒町 | 3 |
| 37 | 立石明 | 六軒町 | 3 |
| 38 | 柳健吉(補正堂) | 六軒町 | 3 |
| 39 | 小川 | 岩和田 | 7 |
| 40 | 大野元 | 岩和田 | 7 |
| 41 | 水野八郎 | 岩和田 | 7 |
| 42 | 水上定雄 | 岩和田 | 7 |
| 43 | 氏原忠 | 岩和田 | 7 |
| 44 | 専修大学セミナーハウス | 岩和田 | 7 |
| 45 | 木原五郎 | 岩和田 | 7 |
| 46 | 江沢政雄 | 岩和田 | 7 |

観光

心のふれあいを モットーに

我々が旅をして良かったと感ずる時は何なのだろうか。

この基本的な考え方を基に、昭和四十四年、御宿観光開発計画基本構想が総合的な見地から構想されましたが、現状では用地問題等の諸問題をかかえ、いまだ未完了のものがあります。

現在、御宿町の観光客と言えば夏期型であり、夏だけの入込数から千葉県のトップを切っていますが、年間を通じては残念ながらこの座をゆずってしまう現状です。

この状況からして、少しでも多くの観光客の滞在を促せるような施設整備の早期完了が必要ですが、幸い夏期以外にも、年末年始あるいは平日の来町客は年々増しており、夏期型観光から徐々に脱皮しつつあると思われれます。

御宿の見所と言えば、原始境を思わせる海蝕海岸とともに二キロメートルに亘る白い砂浜の景観、外にメキシコ塔と月の沙漠という二つの大きな文化観光資源があります。



たくさんの人出でにぎわう御宿海岸

三百七十年の歴史を誇り、蒼い空に真直ぐにそびえたつ白い塔。先人たちの人間愛に満ちた尊い行為を象徴するものです。

月の沙漠の像は、半世紀以上わたって大人から子どもに歌い継がれている童謡「月の沙漠」が、御宿の砂浜から生まれたことによるものです。

私たちは、これらの遺産を大切に、誇りとし、後世に伝えていかなければなりません。

他にも多くの観光資源があると思われませんが、その発掘と保護に努め、新しい価値の発見をしていくことも大切です。

観光御宿としては、これらを基礎とし、心のふれあいをモットーに心も気候も暖かい通年型観光地を確立したいものです。

〈町営プール全般的に天候に恵まれ対前年度比五三パーセントの増収〉

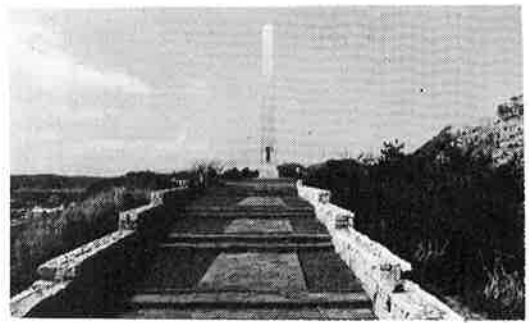
本年度は全般的に好天に恵まれ五十五年度からの入場料金アップの影響もあるが収入も、プール開設以来二番目という増収になりました。又、何よりも無事故の内に終了でき、関係者一同皆様の御協力の賜物と感謝しております。

※プール利用上の注意

- 一、小学校三年生以下の子どもは大人の付き添いが必要。
- 一、大人用プールでは付き添いのいるいなくかかわらず泳ぎの未熟な方は入ることはできません。
- 一、持病をお持ちの方や、医師から水泳を止められている方は入る事はできません。



永遠のロマン月の沙漠記念像



日西壘交通発祥記念碑

昭和56年海水浴場入込状況(昭和53~56年)

| | 53 | 54 | 55 | 56 |
|------|---------|---------|--------|---------|
| 総数 | 1,116千人 | 1,052千人 | 905千人 | 1,111千人 |
| 対前年比 | 8.3% | △ 5.7% | △14.0% | 22.8% |

昭和56年駐車場利用状況(昭和53~56年)

| | 53 | 54 | 55 | 56 |
|------|---------|---------|---------|---------|
| 総数 | 19,692台 | 19,144台 | 18,018台 | 20,180台 |
| 対前年比 | 28.0% | △ 2.8% | △ 5.9% | 12.0% |



数字でみる

おんじゅくのすがた

人口・気象

●年別気温

| 年 | 平均 | 最高 | 最低 | 降雨量 |
|----|------|------|------|--------|
| 30 | 16.6 | 34.1 | -4.4 | 2220.3 |
| 40 | 14.9 | 31.6 | -4.8 | 1639.5 |
| 50 | 15.0 | 31.2 | -2.4 | 1969.0 |
| 54 | 15.7 | 32.8 | -1.0 | 2103.5 |
| 55 | 15.2 | 30.1 | -2.2 | 2243.5 |
| 56 | 14.7 | 31.0 | -4.6 | 1564.0 |

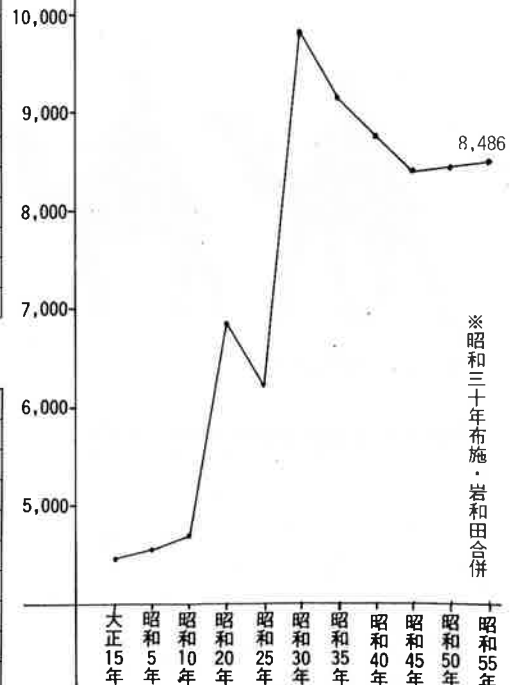
●56年の月別気温

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|
| 平均気温 | 4.4 | 5.5 | 9.2 | 13.5 | 16.8 | 19.6 | 24.0 | 24.9 | 21.3 | 17.8 | 11.2 | 8.2 |
| 最高 | 15.3 | 16.7 | 18.4 | 21.7 | 24.5 | 26.5 | 30.3 | 31.0 | 28.7 | 26.8 | 21.2 | 18.1 |
| 最低 | -2.1 | -4.6 | -0.3 | 2.3 | 8.5 | 12.5 | 17.0 | 19.1 | 15.9 | 9.8 | 3.2 | -1.5 |
| 降雨量 | 21.5 | 55.0 | 221.0 | 238.5 | 109.0 | 82.5 | 141.0 | 59.0 | 158.0 | 197.5 | 246.0 | 35.0 |

●人口の推移 (国勢調査)

| 年度 | 世帯数 | 人口 | | | 女100 に対する 男 | 1世帯 平均 人口 | 人口密 度1km ² | 面積km ² |
|-------|------|------|------|------|-------------------|-----------------|--------------------------|-------------------|
| | | 総数 | 男 | 女 | | | | |
| 大正15年 | 982 | 4408 | 2122 | 2286 | 92.8 | 4.5 | 448 | 9.85 |
| 昭和5 | 1022 | 4611 | 2153 | 2458 | 87.6 | 4.5 | 468 | ◇ |
| 10 | 1016 | 4798 | 2197 | 2601 | 84.5 | 4.7 | 487 | ◇ |
| 20 | 1196 | 6829 | 3197 | 3632 | 88.0 | 5.7 | 693 | ◇ |
| 25 | 1307 | 6195 | 2816 | 3379 | 83.3 | 4.7 | 629 | ◇ |
| 30 | 2022 | 9753 | 4519 | 5234 | 86.3 | 4.8 | 389 | 25.04 |
| 35 | 2047 | 9273 | 4313 | 4960 | 87.0 | 4.5 | 370 | ◇ |
| 40 | 2068 | 8815 | 4053 | 4762 | 85.1 | 4.3 | 352 | ◇ |
| 45 | 2136 | 8475 | 3853 | 4617 | 83.6 | 4.0 | 338 | ◇ |
| 50 | 2263 | 8484 | 3960 | 4524 | 87.5 | 3.7 | 339 | 25.05 |
| 55 | 2432 | 8486 | 4027 | 4459 | 90.3 | 3.4 | 339 | ◇ |

●人口の動き (国勢調査)

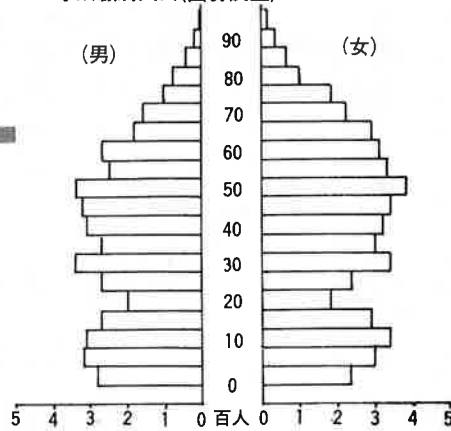


●人口動態

| 年度 | 自然動態 | | | | | | 社会動態 | | |
|----|------|-----|-------|-------|-------|-------|------|-----|-------|
| | 出生 | 死亡 | 出生死亡率 | 死産(件) | 婚姻(件) | 離婚(件) | 転入 | 転出 | 社会増減 |
| 30 | 184 | 74 | 110 | 19 | 68 | 9 | 484 | 784 | △ 300 |
| 40 | 132 | 91 | 41 | 19 | 254 | 9 | 221 | 353 | △ 132 |
| 50 | 114 | 94 | 20 | 9 | 208 | 13 | 322 | 379 | △ 57 |
| 51 | 112 | 95 | 17 | 7 | 119 | 12 | 281 | 369 | △ 88 |
| 52 | 98 | 93 | 5 | 3 | 164 | 20 | 357 | 370 | △ 13 |
| 53 | 95 | 79 | 16 | 4 | 166 | 14 | 357 | 344 | 13 |
| 54 | 103 | 104 | △ 1 | 1 | 183 | 15 | 341 | 375 | △ 34 |
| 55 | 69 | 119 | △ 50 | 5 | 157 | 19 | 320 | 365 | △ 45 |

議会・行政

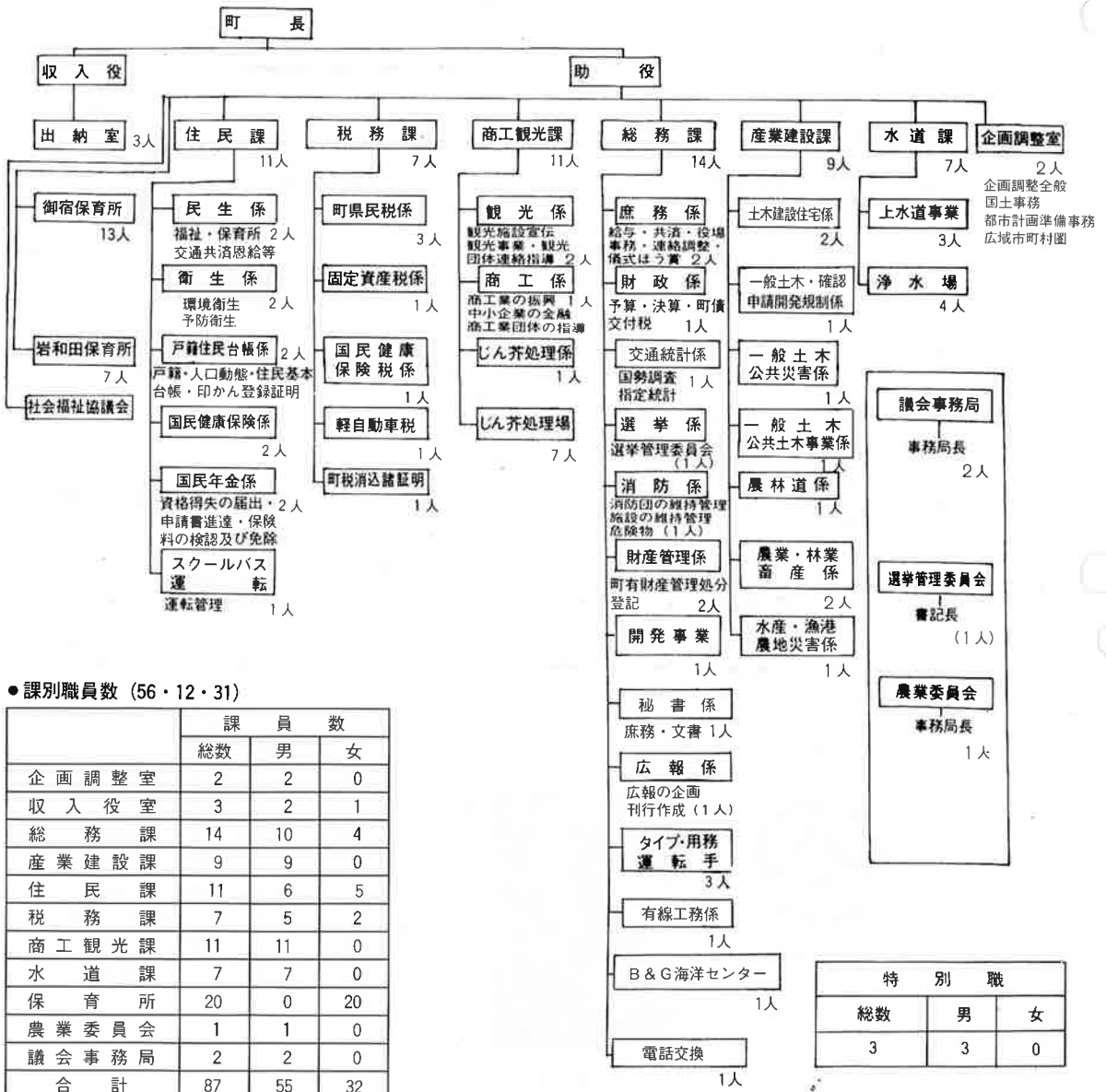
● 5才階級別人口(国勢調査)



● 行政区別世帯と人口 (56. 10. 1)

| 区名 | 世帯数 | 人口 | | |
|-----|------|------|------|------|
| | | 男 | 女 | 計 |
| 須賀 | 328 | 481 | 522 | 1003 |
| 浜 | 286 | 448 | 501 | 949 |
| 高山田 | 89 | 174 | 164 | 338 |
| 久保 | 283 | 477 | 526 | 1003 |
| 新町 | 434 | 643 | 746 | 1389 |
| 六軒町 | 231 | 357 | 397 | 754 |
| 岩和田 | 455 | 791 | 880 | 1671 |
| 実谷 | 128 | 250 | 257 | 507 |
| 上布施 | 203 | 381 | 415 | 796 |
| 合計 | 2437 | 4002 | 4408 | 8410 |

● 事務組織の状況



● 課別職員数 (56・12・31)

| | 課 員 数 | | |
|-------|-------|----|----|
| | 総数 | 男 | 女 |
| 企画調整室 | 2 | 2 | 0 |
| 収入役室 | 3 | 2 | 1 |
| 総務課 | 14 | 10 | 4 |
| 産業建設課 | 9 | 9 | 0 |
| 住民課 | 11 | 6 | 5 |
| 税務課 | 7 | 5 | 2 |
| 商工観光課 | 11 | 11 | 0 |
| 水道課 | 7 | 7 | 0 |
| 保育所 | 20 | 0 | 20 |
| 農業委員会 | 1 | 1 | 0 |
| 議会事務局 | 2 | 2 | 0 |
| 合計 | 87 | 55 | 32 |

| 特 別 職 | | |
|-------|---|---|
| 総数 | 男 | 女 |
| 3 | 3 | 0 |

●歴代議長

| 歴代 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|----|-------|-------------|--------------|
| 1 | 吉野 要 | 昭和30. 3. 31 | 昭和32. 9. 30 |
| 2 | 浅野 航海 | ◇ 32. 10. 1 | ◇ 34. 9. 30 |
| 3 | 新井 清治 | ◇ 34. 10. 1 | ◇ 40. 9. 30 |
| 4 | 関 龍雄 | ◇ 40. 10. 1 | ◇ 44. 9. 30 |
| 5 | 中村 喜一 | ◇ 44. 10. 1 | ◇ 48. 10. 31 |
| 6 | 江沢富士松 | ◇ 48. 12. 4 | ◇ 50. 9. 30 |
| 7 | 岩崎栄一郎 | ◇ 50. 10. 1 | ◇ 54. 9. 30 |
| 8 | 石田 行雄 | ◇ 54. 10. 1 | ◇ 56. 9. 25 |
| 9 | 井上 泰爾 | ◇ 56. 9. 25 | 在任中 |

●歴代副議長

| 歴代 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|----|-------|-------------|-------------|
| 1 | 渡辺 胤生 | 昭和30. 3. 31 | 昭和30. 9. 30 |
| 2 | 市東 三郎 | ◇ 30. 10. 1 | ◇ 32. 9. 30 |
| 3 | 新井 清治 | 32. 10. 1 | ◇ 34. 9. 30 |
| 4 | 岩崎栄一郎 | ◇ 34. 10. 1 | ◇ 40. 9. 30 |
| 5 | 中村 喜一 | ◇ 40. 10. 1 | ◇ 44. 9. 30 |
| 6 | 江沢富士松 | ◇ 44. 10. 1 | ◇ 48. 12. 3 |
| 7 | 江沢 一雄 | ◇ 48. 12. 4 | ◇ 52. 9. 17 |
| 8 | 石田 行雄 | ◇ 52. 9. 17 | ◇ 54. 9. 30 |
| 9 | 井上 泰爾 | ◇ 54. 10. 1 | ◇ 56. 9. 25 |
| 10 | 貝塚 徳治 | ◇ 56. 9. 25 | 在任中 |

●議会等の開催状況

| 区分 年次 | 定例会 | | | | 臨時会 | | | | 請願 陳情 件数 |
|----------|-----|----|------------|------------|-----|----|------------|------------|----------------|
| | 回数 | 会期 | 町長提出 議案 | 議員提出 議案 | 回数 | 会期 | 町長提出 議案 | 議員提出 議案 | |
| 48 | 4 | 12 | 53 | 0 | 1 | 1 | 7 | 1 | 0 |
| 49 | 4 | 9 | 67 | 2 | 2 | 2 | 1 | 5 | 1 |
| 50 | 4 | 9 | 46 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 51 | 4 | 11 | 35 | 2 | 2 | 2 | 5 | 0 | 0 |
| 52 | 4 | 11 | 37 | 0 | 2 | 2 | 6 | 0 | 1 |
| 53 | 4 | 12 | 36 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 54 | 4 | 12 | 33 | 1 | 3 | 3 | 5 | 0 | 4 |
| 55 | 4 | 11 | 35 | 2 | 2 | 2 | 4 | 0 | 2 |
| 56 | 4 | 15 | 32 | 5 | 3 | 3 | 7 | 0 | 1 |



●町章のいわれ

町名の頭文字「オ・ン」を図案化したもので 合併した3町村が丸く和合し未来に向かって大きく発展することを表わしたもの

昭和40年3月制定 創案者=御宿町六軒町 藤江真一



●歴代町長

| 歴代 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|---------------|-------|--------------|--------------|
| (町長職務 執行者) | 大地 重直 | 昭和30. 3. 31 | 昭和30. 5. 15 |
| 1 | 井上 文吉 | // 30. 5. 16 | // 42. 5. 14 |
| 2 | 岩井 敏夫 | // 42. 5. 15 | // 54. 5. 14 |
| 3 | 高梨 秀治 | // 54. 5. 15 | 在任中 |

●歴代助役

| 歴代 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|----|-------|---------------|---------------|
| 1 | 相原誠三郎 | 昭和30. 10. 18 | 昭和38. 10. 17 |
| 2 | 岩井 敏夫 | // 39. 1. 10 | // 42. 4. 17 |
| 3 | 佐藤 清司 | // 42. 12. 20 | // 45. 10. 31 |
| 4 | 浅野 興典 | // 47. 4. 1 | // 54. 5. 14 |
| 5 | 池田 覚道 | // 55. 3. 1 | 在任中 |

●歴代収入役

| 歴代 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|----|-------|---------------|---------------|
| 1 | 相原誠三郎 | 昭和29. 2. 13 | 昭和30. 10. 17 |
| 2 | 佐藤 清司 | // 30. 10. 18 | // 42. 12. 19 |
| 3 | 浅野 興典 | // 42. 12. 20 | // 47. 3. 31 |
| 4 | 和田 正美 | // 47. 4. 1 | // 54. 5. 14 |
| 5 | 岩瀬 剛 | // 54. 7. 1 | 在任中 |

●議会運営・活動状況

定例会 年4回(条例) 3月・6月・9月・12月

●党派

| 無所属 | 公明党 | 日本共産党 |
|-----|-----|-------|
| 15人 | 1人 | 1人 |

| 議会議長 井上泰爾 同副議長 貝塚徳治 | | |
|---------------------|-------|----------|
| 議席番号 | 氏名 | 住所 |
| 1 | 石田 行雄 | 岩和田1010 |
| 2 | 神楽 祐司 | 岩和田1128 |
| 3 | 佐藤 高二 | 上布施2159 |
| 4 | 井上 泰爾 | 高山田1831 |
| 5 | 関野 正治 | 岩和田1058 |
| 6 | 岩崎栄一郎 | 岩和田1047 |
| 7 | 君塚 秀雄 | 浜451 |
| 8 | 永野 三郎 | 岩和田750-2 |
| 9 | 江沢富士松 | 岩和田925 |
| 10 | 白鳥 時雄 | 浜2163 |
| 12 | 藤井 昇 | 新町776 |
| 13 | 岡村 甲純 | 久保2028 |
| 14 | 井上千太郎 | 久保2031 |
| 15 | 井上 浩一 | 高山田805 |
| 16 | 鶴岡 光雄 | 須賀597 |
| 17 | 吉野 寅造 | 実谷210 |
| 18 | 貝塚 徳治 | 新町168 |

●最近の選挙における投票状況

| 選挙名 | 施行年月日 | 当日有権者数 | | | 投票者数 | | | 投票率 (%) | | |
|-------------|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|
| | | 総数 | 男 | 女 | 総数 | 男 | 女 | 平均 | 男 | 女 |
| 御宿町長選挙 | 50年 4月27日 | 6,361 | 2,947 | 3,414 | 5,257 | 2,384 | 2,873 | 82.64 | 80.90 | 84.15 |
| 御宿町議会議員選挙 | 50年 9月21日 | 6,414 | 2,977 | 3,437 | 5,924 | 2,699 | 3,225 | 92.36 | 90.66 | 93.83 |
| 衆議院議員選挙 | 51年12月 5日 | 6,445 | 3,000 | 3,445 | 5,277 | 2,402 | 2,875 | 81.88 | 80.07 | 83.45 |
| 参議院議員選挙 | 52年 7月10日 | 6,449 | 3,004 | 3,445 | 4,260 | 1,940 | 2,320 | 66.06 | 64.61 | 67.31 |
| 千葉県知事選挙 | 54年 4月 8日 | 6,396 | 2,973 | 3,423 | 5,270 | 2,385 | 2,885 | 82.40 | 80.22 | 84.28 |
| 御宿町長選挙 | 54年 4月22日 | 6,398 | 2,975 | 3,423 | 5,869 | 2,695 | 3,174 | 91.73 | 90.59 | 92.73 |
| 御宿町議会議員選挙 | 54年 9月23日 | 6,426 | 2,999 | 3,427 | 5,890 | 2,707 | 3,183 | 91.66 | 90.26 | 92.88 |
| 衆議院議員選挙 | 54年10月 7日 | 6,468 | 3,015 | 3,453 | 4,818 | 2,202 | 2,616 | 74.49 | 73.03 | 75.76 |
| 参議院議員選挙 | 55年 6月22日 | 6,463 | 3,023 | 3,440 | 4,958 | 2,270 | 2,688 | 76.71 | 75.09 | 78.14 |
| 衆議院議員選挙 | 55年 6月22日 | 6,463 | 3,023 | 3,440 | 4,962 | 2,272 | 2,690 | 76.78 | 75.16 | 78.20 |
| 参議院議員選挙(補欠) | 56年 3月 8日 | 6,438 | 3,007 | 3,431 | 3,046 | 1,365 | 1,681 | 47.31 | 45.39 | 48.99 |
| 千葉県知事選挙 | 56年 4月 5日 | 6,347 | 2,963 | 3,384 | 2,797 | 1,314 | 1,483 | 44.07 | 44.35 | 43.82 |

●投票区別有権者数

(56年9月現在)

| 区分 | 投票区域 | 計 | 男 | 女 |
|-------|-----------|-------|-------|-------|
| 第1投票区 | 久保、新町、六軒町 | 2,449 | 1,138 | 1,311 |
| 第2投票区 | 須賀、浜、高山田 | 1,721 | 801 | 920 |
| 第3投票区 | 岩和田 | 1,261 | 586 | 675 |
| 第4投票区 | 上布施 | 612 | 283 | 329 |
| 第5投票区 | 実谷、七本 | 425 | 204 | 221 |
| 総数 | | 6,468 | 3,012 | 3,456 |

財政

●55年度町民1人当たり



| 55年度 住民負担の状況 | | 大字-1世帯当たり・円 ()-1人当たり円 | |
|------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------|
| 町民税 62,070 (17,215) | たばこ消費税 14,415 (3,998) | 固定資産税 57,686 (15,999) | 電気 8,201 (2,274) |
| 軽自動車税 1,258 (349) | 木材引取税 26 (7) | 特別土地保有税 21,563 (5,980) | |

(滞納繰越金、国などから交付される固定資産税を除く)

| | |
|-----------------|-----------------------|
| 土地 661,000㎡ | 建物 22,879㎡ |
| 町有財産 | 有価証券 2,417,000円 |
| | 町の借金 669,281,000円 |

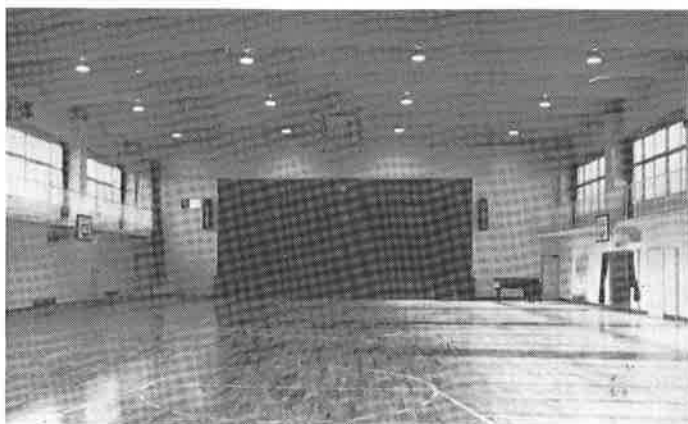
● 財政の変遷 (普通会計決算状況)

(千円)

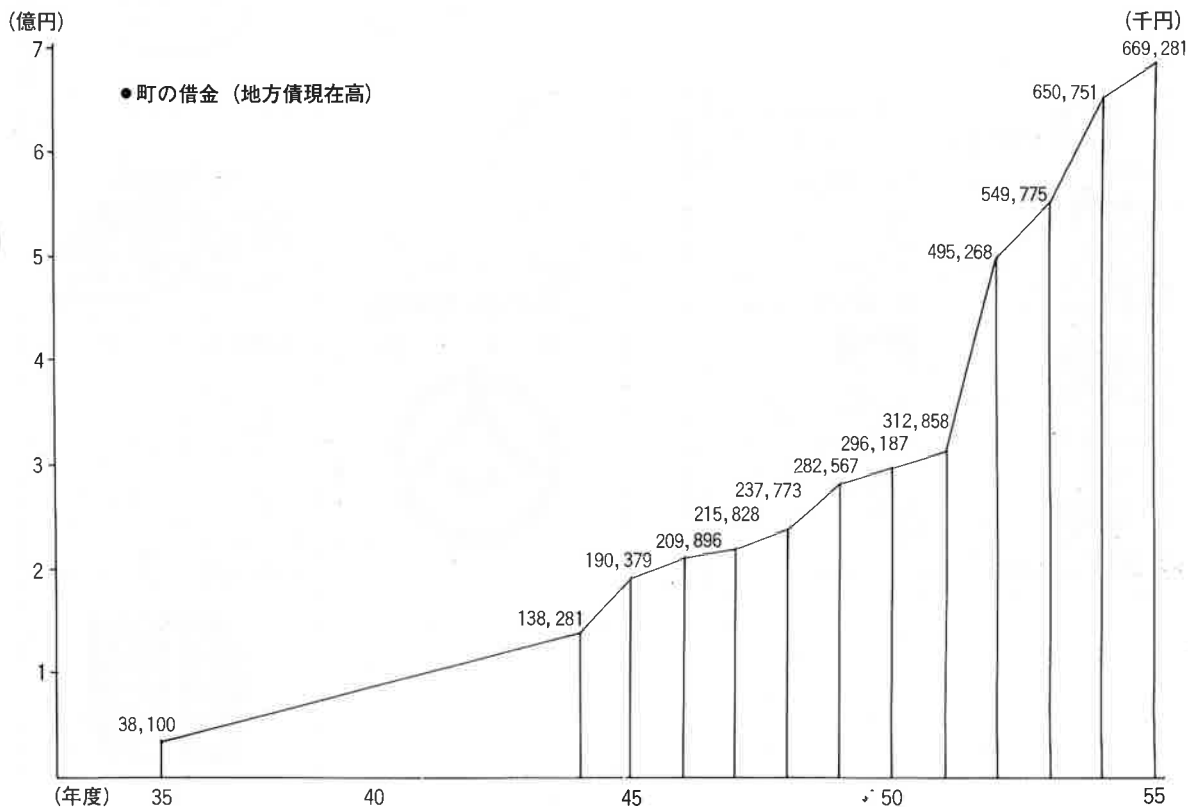
| 年度 | 当初予算額 | 決 算 | | | 基準財政 需要額 | 基準財政 収入額 | 地 方 交付税額 | 財 政 力 指 数 |
|----|-----------|-----------|-----------|---------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| | | 歳 入 | 歳 出 | 差引残高 | | | | |
| 49 | 627,300 | 1,000,272 | 910,978 | 89,294 | 381,956 | 119,782 | 281,110 | 0.278 |
| 50 | 995,000 | 1,030,976 | 922,958 | 108,018 | 416,772 | 142,934 | 294,309 | 0.301 |
| 51 | 1,499,200 | 1,474,698 | 1,338,481 | 136,217 | 446,761 | 150,422 | 323,053 | 0.331 |
| 52 | 1,501,100 | 2,657,043 | 2,550,743 | 106,300 | 508,223 | 186,861 | 350,609 | 0.349 |
| 53 | 1,268,600 | 1,588,539 | 1,421,935 | 166,604 | 582,000 | 226,317 | 409,770 | 0.364 |
| 54 | 1,145,000 | 1,539,617 | 1,384,601 | 155,016 | 645,414 | 269,454 | 415,250 | 0.391 |
| 55 | 1,215,000 | 1,722,938 | 1,564,034 | 158,904 | 698,972 | 321,988 | 430,840 | 0.422 |

● 町税負担状況の推移

| 区分 年度 | 町税総額 千円 | 一世帯当 り負担額 円 | 一人当 り負担額 円 |
|----------|------------|-------------------|------------------|
| 30 | 13,618 | 6,753 | 1,396 |
| 35 | 15,166 | 7,408 | 1,635 |
| 40 | 27,435 | 13,266 | 3,112 |
| 45 | 57,725 | 26,962 | 6,892 |
| 50 | 187,905 | 83,886 | 21,920 |
| 51 | 229,132 | 102,063 | 26,953 |
| 52 | 270,709 | 118,627 | 31,878 |
| 53 | 292,864 | 125,908 | 34,377 |
| 54 | 341,631 | 145,498 | 40,267 |
| 55 | 398,343 | 165,218 | 45,823 |



完成した布施小学校体育館



●普通会計歳入決算額の推移

(千円)

| 種別 | 昭和49年度 | | 昭和50年度 | | 昭和51年度 | | 昭和52年度 | | 昭和53年度 | | 昭和54年度 | | 昭和55年度 | |
|---------------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| 合 計 | 1,000,272 | 100.0 | 1,030,976 | 100.0 | 1,474,698 | 100.0 | 2,657,043 | 100.0 | 1,598,539 | 100.0 | 1,539,617 | 100.0 | 1,722,938 | 100.0 |
| 地 方 税 | 175,676 | 17.6 | 187,905 | 18.2 | 229,132 | 15.5 | 270,709 | 10.2 | 292,864 | 18.4 | 341,631 | 22.2 | 398,343 | 23.1 |
| 地 方 譲 与 税 | 5,736 | 0.6 | 6,506 | 0.6 | 11,218 | 0.8 | 12,703 | 0.5 | 12,983 | 0.8 | 24,865 | 1.6 | 25,623 | 1.4 |
| 自 動 車 交 付 税 | 7,578 | 0.8 | 9,139 | 0.9 | 9,035 | 0.6 | 10,552 | 0.4 | 12,712 | 0.8 | 19,709 | 1.3 | 20,105 | 1.1 |
| 地 方 交 付 税 | 281,110 | 28.1 | 294,309 | 28.5 | 323,053 | 21.6 | 350,609 | 13.2 | 409,770 | 25.8 | 415,250 | 27.0 | 430,840 | 25.0 |
| 交 通 安 全 交 付 金 | 704 | 0.1 | 915 | 0.1 | 817 | 0.1 | 916 | | 1,110 | 0.1 | 1,140 | 0.1 | 995 | 0.1 |
| 分 担 金 及 負 担 金 | 23,180 | 2.3 | 15,295 | 1.5 | 60,142 | 4.1 | 74,261 | 2.8 | 98,689 | 6.2 | 32,508 | 2.1 | 59,494 | 3.5 |
| 使 用 料 及 手 数 料 | 33,284 | 3.3 | 28,746 | 2.8 | 32,897 | 2.2 | 34,178 | 1.3 | 45,042 | 2.8 | 50,662 | 3.3 | 51,507 | 3.0 |
| 国 庫 支 出 金 | 146,762 | 14.7 | 141,074 | 13.7 | 183,020 | 12.4 | 360,738 | 13.6 | 204,227 | 12.8 | 165,975 | 10.8 | 225,158 | 13.1 |
| 県 支 出 金 | 74,710 | 7.5 | 102,342 | 9.9 | 111,731 | 7.6 | 148,520 | 5.6 | 123,681 | 7.8 | 91,463 | 5.9 | 114,182 | 6.6 |
| 財 産 収 入 | 17,895 | 1.8 | 41,930 | 4.1 | 28,571 | 1.9 | 55,790 | 2.1 | 71,386 | 4.5 | 33,440 | 2.2 | 147,023 | 8.5 |
| 寄 付 金 | 14,375 | 1.4 | 1,750 | 0.2 | 805 | 0.1 | 1,755 | 0.1 | 2,800 | 0.2 | 1,950 | 0.1 | 1,050 | 0.1 |
| 繰 入 金 | 8,850 | 0.8 | 4,450 | 0.4 | 21,719 | 1.5 | 70,000 | 2.6 | | | 2,076 | 0.1 | 1,375 | 0.1 |
| 繰 越 金 | 72,223 | 7.2 | 89,294 | 8.7 | 108,018 | 7.3 | 136,217 | 5.1 | 106,300 | 6.7 | 166,604 | 10.8 | 155,016 | 9.0 |
| 諸 収 入 | 73,989 | 7.4 | 75,021 | 7.3 | 314,540 | 21.3 | 922,695 | 34.7 | 128,075 | 8.1 | 62,344 | 4.1 | 37,827 | 2.2 |
| 地 方 債 | 64,200 | 6.4 | 32,300 | 3.1 | 40,000 | 2.7 | 207,400 | 7.8 | 78,900 | 5.0 | 130,000 | 8.4 | 54,400 | 3.2 |

●目的別歳出の推移

(千円)

| 種別 | 昭和49年度 | | 昭和50年度 | | 昭和51年度 | | 昭和52年度 | | 昭和53年度 | | 昭和54年度 | | 昭和55年度 | |
|-------------|---------|-------|---------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| 合 計 | 910,978 | 100.0 | 922,958 | 100.0 | 1,338,481 | 100.0 | 2,550,743 | 100.0 | 1,421,935 | 100.0 | 1,384,601 | 100.0 | 1,564,034 | 100.0 |
| 議 会 費 | 17,378 | 1.9 | 20,196 | 2.2 | 28,594 | 2.1 | 32,937 | 1.3 | 36,369 | 2.6 | 42,403 | 3.0 | 43,599 | 2.8 |
| 総 務 費 | 140,968 | 15.5 | 149,138 | 16.2 | 172,808 | 12.9 | 220,205 | 8.6 | 208,067 | 14.6 | 336,044 | 24.2 | 384,485 | 24.6 |
| 民 生 費 | 93,861 | 10.3 | 179,516 | 19.5 | 155,851 | 11.7 | 142,194 | 5.9 | 154,669 | 10.9 | 164,698 | 11.9 | 175,126 | 11.2 |
| 衛 生 費 | 95,040 | 10.4 | 112,701 | 12.2 | 358,814 | 26.8 | 898,423 | 35.2 | 160,300 | 11.3 | 105,520 | 7.6 | 99,091 | 6.3 |
| 農 林 水 産 業 費 | 121,756 | 13.4 | 177,932 | 19.3 | 258,041 | 19.3 | 247,350 | 9.7 | 266,617 | 18.8 | 156,922 | 11.3 | 160,934 | 10.3 |
| 商 工 費 | 32,808 | 3.6 | 26,146 | 2.8 | 20,803 | 1.6 | 36,009 | 1.4 | 103,839 | 7.3 | 66,548 | 4.8 | 52,554 | 3.4 |
| 土 木 費 | 83,785 | 9.2 | 104,411 | 11.3 | 121,875 | 9.1 | 273,934 | 10.7 | 237,662 | 16.7 | 219,308 | 15.8 | 326,116 | 20.8 |
| 消 防 費 | 26,201 | 2.9 | 15,160 | 1.6 | 22,939 | 1.7 | 20,672 | 0.8 | 36,128 | 2.5 | 48,632 | 3.5 | 39,096 | 2.5 |
| 教 育 費 | 219,593 | 24.1 | 93,193 | 10.1 | 90,021 | 6.7 | 496,429 | 19.5 | 146,361 | 10.3 | 165,663 | 11.9 | 172,976 | 11.1 |
| 災 害 復 旧 費 | 45,496 | 5.0 | 6,241 | 0.7 | 67,355 | 5.0 | 135,171 | 5.3 | 15,966 | 1.1 | 13,755 | 1.0 | 31,208 | 2.0 |
| 公 債 費 | 34,092 | 3.7 | 38,324 | 4.1 | 41,380 | 3.1 | 47,419 | 1.9 | 55,957 | 3.9 | 65,108 | 4.7 | 78,849 | 5.0 |

●性質別歳出の推移

(千円)

| 種別 | 昭和49年度 | | 昭和50年度 | | 昭和51年度 | | 昭和52年度 | | 昭和53年度 | | 昭和54年度 | | 昭和55年度 | |
|-----------------|---------|-------|---------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| 合 計 | 910,978 | 100.0 | 922,958 | 100.0 | 1,338,481 | 100.0 | 2,550,743 | 100.0 | 1,421,935 | 100.0 | 1,384,601 | 100.0 | 1,564,034 | 100.0 |
| 人 件 費 | 190,478 | 20.9 | 217,303 | 23.5 | 241,427 | 18.0 | 268,972 | 10.5 | 288,670 | 20.3 | 300,065 | 21.7 | 330,101 | 21.1 |
| 扶 助 費 | 30,476 | 3.3 | 38,292 | 4.2 | 44,115 | 3.3 | 48,897 | 1.9 | 52,293 | 3.7 | 58,022 | 4.2 | 61,391 | 3.9 |
| 公 債 費 | 34,092 | 3.7 | 38,311 | 4.2 | 41,354 | 3.1 | 47,401 | 1.9 | 55,939 | 3.9 | 65,084 | 4.7 | 78,825 | 5.0 |
| 物 件 費 | 49,166 | 5.4 | 59,099 | 6.4 | 64,310 | 4.8 | 73,940 | 2.9 | 104,904 | 7.4 | 87,515 | 6.3 | 102,511 | 6.6 |
| 維 持 補 修 費 | 5,343 | 0.6 | 5,241 | 0.6 | 8,099 | 0.6 | 4,805 | 0.2 | 5,279 | 0.4 | 11,042 | 0.8 | 5,743 | 0.4 |
| 補 助 資 等 | 118,043 | 11.0 | 126,981 | 13.8 | 153,737 | 11.5 | 169,799 | 6.6 | 242,291 | 17.0 | 299,721 | 21.7 | 316,886 | 20.3 |
| 積 立 金 | 3,494 | 0.4 | 5,784 | 0.6 | 5,658 | 0.4 | 7,608 | 0.3 | 2,635 | 0.2 | 52,853 | 3.8 | 135,085 | 8.6 |
| 投 資・出 資 金・貸 付 金 | 66,278 | 7.3 | 80,437 | 8.7 | 319,428 | 23.9 | 853,875 | 33.5 | 93,192 | 6.6 | 18,310 | 1.3 | 56 | |
| 繰 出 金 | 0 | 0 | 500 | | 0 | | 0 | | 600 | | | | 1,000 | 0.1 |
| 普 通 建 設 事 業 費 | 368,112 | 40.4 | 344,769 | 37.3 | 392,998 | 29.4 | 940,275 | 36.9 | 560,166 | 39.4 | 478,234 | 34.5 | 501,228 | 32.0 |
| 災 害 復 旧 事 業 費 | 45,496 | 5.0 | 6,241 | 0.7 | 67,355 | 5.0 | 135,171 | 5.3 | 15,966 | 1.1 | 13,755 | 1.0 | 31,208 | 2.0 |

産業

●産業別就業者数(国勢調査)

| 区分 | 種別 | 30年 | | 35年 | | 40年 | | 45年 | | 50年 | | 55年 | |
|-------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 就業者 | % | 就業者 | % | 就業者 | % | 就業者 | % | 就業者 | % | 就業者 | % |
| 第1次産業 | 農業、林業、狩猟業 漁業、水産養殖業 | 2,223 | 56.3 | 2,231 | 51.9 | 1,579 | 42.0 | 1,302 | 32.6 | 687 | 19.4 | 703 | 17.8 |
| 第2次産業 | 鉱業、建設業 製造業 | 571 | 14.5 | 703 | 16.4 | 764 | 20.3 | 1,007 | 25.2 | 1,039 | 29.4 | 1,156 | 29.3 |
| 第3次産業 | 卸小売業、金融保険業 その他 | 1,156 | 29.2 | 1,363 | 31.7 | 1,415 | 37.7 | 1,686 | 42.2 | 1,813 | 51.2 | 2,085 | 52.9 |
| 計 | | 3,950 | 100.0 | 4,297 | 100.0 | 3,785 | 100.0 | 3,995 | 100.0 | 3,539 | 100.0 | 3,944 | 100.0 |

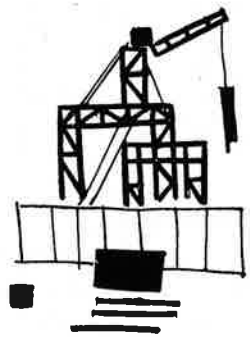
●産業別就業者数の推移(国勢調査)

| | | | |
|-------|--------------|------------|------------|
| 昭和30年 | 第1次産業 (56.3) | 第2次 (14.5) | 第3次 (29.2) |
| 昭和35年 | 第1次 (51.9) | 第2次 (16.4) | 第3次 (31.7) |
| 昭和40年 | 第1次 (42.0) | 第2次 (20.3) | 第3次 (37.7) |
| 昭和45年 | 第1次 (32.6) | 第2次 (25.2) | 第3次 (42.2) |
| 昭和50年 | 第1次 (19.4) | 第2次 (29.4) | 第3次 (51.2) |
| 昭和55年 | 第1次 (17.8) | 第2次 (29.3) | 第3次 (52.9) |

第一次産業—農業 漁業 水産養殖業

第二次産業—鉱業 建設業 製造業

第三次産業—卸小売業 金融 保険 不動産業 運輸 通信 電気 ガス 水道 サービス業 公務



●業種別総所得金額(税務所調べ)

(千円)

| 業種 | 年次 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 |
|---------|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 給与所得 | | 1,934,865 | 2,190,153 | 2,471,928 | 2,855,929 | 3,214,187 | 3,484,162 | 3,770,962 |
| 営業所得 | | 254,874 | 238,007 | 250,079 | 291,527 | 356,658 | 340,031 | 361,315 |
| 農業所得 | | 76,703 | 50,631 | 24,932 | 27,473 | 18,778 | 8,236 | 12,809 |
| その他事業所得 | | 212,131 | 188,515 | 211,347 | 257,625 | 280,974 | 352,630 | 438,791 |
| その他所得 | | 14,794 | 34,489 | 17,824 | 29,077 | 48,417 | 34,844 | 43,994 |
| 譲渡所得 | | 120,968 | 82,480 | 71,095 | 42,644 | 82,881 | 136,838 | 131,403 |
| 計 | | 2,614,335 | 2,784,275 | 3,047,195 | 3,504,275 | 4,001,895 | 4,356,741 | 4,759,274 |

農業

●農家数の動き（農業基本調査）

| 年度 | 総数 | 専業 | 第1種兼業 | 第2種兼業 |
|----|-----|-----|-------|-------|
| 35 | 745 | 135 | 284 | 326 |
| 40 | 681 | 49 | 278 | 354 |
| 45 | 608 | 34 | 198 | 376 |
| 50 | 470 | 24 | 144 | 302 |
| 51 | 452 | 29 | 133 | 290 |
| 52 | 448 | 23 | 161 | 264 |
| 53 | 440 | 26 | 136 | 278 |
| 54 | 432 | 19 | 125 | 288 |
| 55 | 430 | 23 | 120 | 287 |
| 56 | 417 | 20 | 78 | 319 |

●経営規模別農家数

| 年度 | 総数 | 10～30 (a) | 30～50 (a) | 50～100 (a) | 100～150 (a) | 150以上 (a) | 例外規定 |
|----|-----|--------------|--------------|---------------|----------------|--------------|------|
| 35 | 745 | 221 | 123 | 215 | 157 | 17 | 12 |
| 40 | 681 | 192 | 106 | 199 | 154 | 23 | 7 |
| 45 | 608 | 155 | 104 | 187 | 132 | 30 | — |
| 50 | 470 | 96 | 83 | 206 | 71 | 11 | 3 |
| 55 | 430 | 89 | 81 | 185 | 59 | 13 | 3 |
| 56 | 417 | 80 | 86 | 179 | 59 | 11 | 2 |

●農家の推移

| 年度 | 農家数 (戸) | 増減 | | 農家人口 (人) | 増減 | | 1戸当たり農家人口 (人) | 町総世帯数 (戸) | 町総世帯数に対する農家率 (%) | 町総人口 (人) | 町総人口に対する農家人口率 (%) | 経営耕地面積 | | | |
|----|------------|----------|----------|-------------|----------|----------|------------------|--------------|---------------------|-------------|----------------------|-------------|-----------|-----------|-------------|
| | | 数 (戸) | 率 (%) | | 数 (人) | 率 (%) | | | | | | 総面積 (ha) | 田 (ha) | 畑 (ha) | その他 (ha) |
| 35 | 745 | — | — | 4,019 | — | — | 5.4 | 2,047 | 36.4 | 9,273 | 43.3 | 467 | 359 | 107 | 1 |
| 40 | 681 | △64 | △8.6 | 3,459 | △560 | △13.9 | 5.1 | 2,067 | 32.9 | 8,815 | 39.2 | 449 | 355 | 91 | 3 |
| 45 | 608 | △73 | △10.7 | 2,882 | △577 | △16.7 | 4.7 | 2,136 | 28.5 | 8,475 | 34.0 | 418 | 341 | 70 | 7 |
| 50 | 470 | △138 | △22.7 | 2,204 | △678 | △23.5 | 4.7 | 2,263 | 20.8 | 8,484 | 26.0 | 300 | 247 | 46 | 7 |
| 51 | 452 | △18 | △4.0 | 2,095 | △109 | △4.9 | 4.6 | 2,270 | 19.9 | 8,412 | 24.9 | 287 | 238 | 42 | 7 |
| 52 | 448 | △4 | △0.9 | 2,055 | △40 | △1.9 | 4.6 | 2,302 | 19.5 | 8,390 | 24.5 | 306 | 254 | 45 | 7 |
| 53 | 440 | △8 | △1.8 | 2,021 | △34 | △1.7 | 4.6 | 2,336 | 18.8 | 8,395 | 24.1 | 296 | 248 | 43 | 5 |
| 54 | 432 | △8 | △1.8 | 1,949 | △72 | △3.6 | 4.5 | 2,372 | 18.2 | 8,380 | 23.3 | 286 | 240 | 42 | 4 |
| 55 | 430 | △2 | △0.5 | 1,941 | △8 | △0.4 | 4.5 | 2,432 | 17.7 | 8,486 | 22.9 | 290 | 234 | 51 | 5 |
| 56 | 417 | △13 | △3.0 | 1,882 | △59 | △3.0 | 4.5 | 2,437 | 17.1 | 8,410 | 22.4 | 280 | 227 | 49 | 4 |

●農業機械所有台数

| 年度 | 動力耕うん機 農用トラクター | 動力噴霧機 | 動力散粉機 | バインダー | 自脱型コンバイン | 米麦用乾燥機 | 田植機 | 農用トラック オート三輪 |
|----|-------------------|-------|-------|-------|----------|--------|-----|-----------------|
| 39 | 219 | 12 | 3 | — | — | — | — | 9 |
| 46 | 317 | 7 | 59 | 58 | — | — | 54 | 25 |
| 47 | 319 | 12 | 55 | 56 | 1 | — | 55 | 29 |
| 48 | 333 | 10 | 56 | 95 | 4 | — | 56 | 33 |
| 49 | 365 | 12 | 59 | 141 | 4 | — | 95 | 45 |
| 50 | 398 | 45 | 23 | 198 | 8 | 305 | 141 | 37 |
| 51 | 430 | 21 | 32 | 207 | 15 | 338 | 198 | 45 |
| 52 | 435 | 13 | 41 | 226 | 40 | 329 | 207 | 34 |
| 53 | 445 | 12 | 68 | 222 | 70 | 325 | 226 | 62 |
| 54 | 453 | 14 | 72 | 242 | 81 | 326 | 222 | 64 |
| 55 | 478 | — | — | 250 | 113 | 322 | 210 | — |
| 56 | 498 | 7 | 61 | 245 | 102 | 326 | 208 | 77 |

●主要作物収穫面積の累計比較（a）

| 年次 | 水稲 | 麦類 | 甘藷 |
|----|--------|-------|-------|
| 35 | 33,850 | 6,230 | 2,780 |
| 40 | 32,835 | 2,438 | 1,629 |
| 45 | 28,108 | 749 | 710 |
| 50 | 22,549 | 4 | 273 |
| 51 | 23,753 | 4 | 223 |
| 52 | 23,419 | 4 | 252 |
| 53 | 21,353 | 6 | 244 |
| 54 | 21,223 | 3 | 216 |
| 55 | 19,930 | 0 | 251 |

漁業

●漁港施設

| 項 目 | | 御 宿 | 岩和田 |
|-----|------------|-----|-------|
| 漁 | けい船岸延長(m) | 373 | 702 |
| | 外かく施設延長(m) | 686 | 1,274 |
| | 最多入港トン数(t) | 29 | 10 |
| 港 | 登録漁船隻数(隻) | 79 | 187 |
| | 利用漁船隻数(隻) | 117 | 217 |

●年次別組合水揚高

| 種 別 | 御 宿 | | | 岩 和 田 | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 53年 | 54年 | 55年 | 53年 | 54年 | 55年 |
| 魚 類 | 180,823 | 194,273 | 228,009 | 349,103 | 480,673 | 543,749 |
| 貝 類 | 89,204 | 98,640 | 103,026 | 238,565 | 319,875 | 302,472 |
| 藻 類 | 201 | 525 | 253 | 719 | 658 | 372 |
| 計 | 270,228 | 293,438 | 331,288 | 588,387 | 801,206 | 846,593 |

●漁業協同組合の状況

(12. 31現在)

| 組 合 | 45 | | | 50 | | | 55 | | | 56 | | |
|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|------|
| | 計 | 正組合員 | 準組合員 | 計 | 正組合員 | 準組合員 | 計 | 正組合員 | 準組合員 | 計 | 正組合員 | 準組合員 |
| 御 宿 | 157 | 129 | 28 | 171 | 129 | 42 | 199 | 138 | 61 | 204 | 135 | 69 |
| 岩和田 | 441 | 437 | 4 | 457 | 451 | 6 | 461 | 453 | 8 | 461 | 453 | 8 |

●おもな漁種別水揚量

(単位：トン)

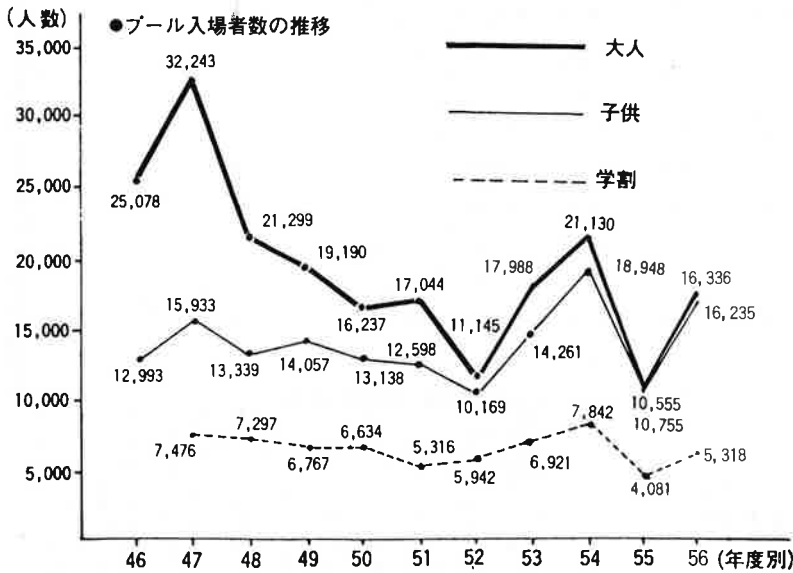
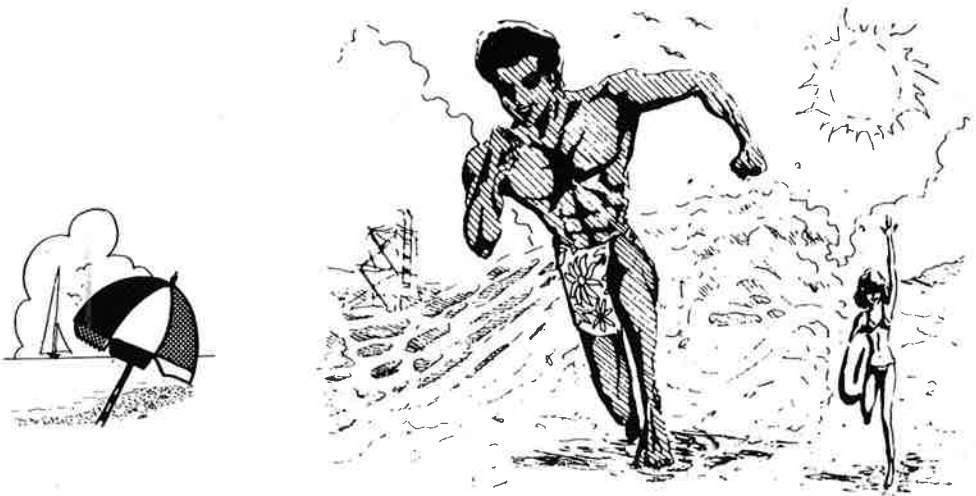
| 魚 種 別 | 御 宿 | | | 岩 和 田 | | |
|---------|------|-----|------|-------|-----|-----|
| | 53年 | 54年 | 55年 | 53年 | 54年 | 55年 |
| た い | 6 | 2 | 0 | 1 | 3 | 2 |
| わ ら さ | 2 | 2 | 8 | 6 | 19 | 25 |
| ひ ら め | 1 | 3 | 2 | 7 | 15 | 14 |
| さ ば | 3 | 19 | 9 | 0 | 1 | 1 |
| ぶ り | 2 | 0 | 1 | 9 | 10 | 27 |
| い か | 8 | 57 | 85 | 6 | 110 | 146 |
| か つ お | 49 | 29 | 49 | 99 | 64 | 98 |
| い な だ | 2 | 8 | 26 | 69 | 88 | 158 |
| め じ | 8 | 3 | 8 | 63 | 63 | 13 |
| め だ い | 3 | 2 | 1 | 0.1 | 4 | 0 |
| ま ぐ ろ | 7 | 21 | 2 | 0.4 | 1 | 1 |
| あ じ | 18 | 10 | 20 | 0 | 0 | 0 |
| さ よ り | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| こ の し ろ | 60 | 15 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| 鮑 | 20 | 41 | 19 | 63 | 81 | 71 |
| さ ざ え | 4 | 5 | 4 | 5 | 9 | 10 |
| 雑 魚 | 55 | 36 | 26 | 115 | 66 | 86 |
| い わ し | 1155 | 398 | 756 | 0 | 0 | 0 |
| え び | 0 | 0 | 0 | 4 | 6 | 5 |
| 計 | 1405 | 652 | 1026 | 447 | 540 | 657 |

●漁種別水揚量

(単位：トン)

| 種 別 | 御 宿 | | | | 岩 和 田 | | | |
|-------------|------|-------|-----|------|-------|-----|-----|-----|
| | 52年 | 53年 | 54年 | 55年 | 52年 | 53年 | 54年 | 55年 |
| 二そうまきあぐり巾着網 | 2197 | 1155 | 456 | 776 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 刺 網 | 0.3 | 0.3 | 2 | 1 | 6 | 73 | 94 | 163 |
| さ ば 釣 | 2 | 3 | 19 | 9 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| い か 釣 | 24 | 8 | 57 | 85 | 57 | 6 | 110 | 146 |
| そ の 他 の 釣 | 75.5 | 57 | 48 | 114 | 231 | 283 | 206 | 230 |
| そ の 他 の 延 釣 | 1 | 3 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 地 び き 網 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 採 貝 | 23 | 24 | 46 | 23 | 76 | 68 | 90 | 81 |
| 採 藻 | 60 | 6 | 16 | 5 | 57 | 17 | 22 | 11 |
| 突 棒 | 0.2 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| そ の 他 の 漁 業 | 6 | 148.7 | 3 | 12 | 22 | 19 | 14 | 23 |
| 総 計 | 2389 | 1405 | 652 | 1026 | 452 | 466 | 540 | 657 |

観光



●観光施設及び入込数

| | 38年 | 40年 | 45年 | 50年 | 51年 | 52年 | 53年 | 54年 | 55年 | 56年 | |
|------------------|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 観光客数 (人) | 夏季 | 220,000 | 344,000 | 1,120,000 | 1,160,000 | 1,049,000 | 1,030,000 | 1,116,000 | 1,052,000 | 905,000 | 1,111,700 |
| | 年間 | 249,000 | 396,000 | 1,310,000 | 1,311,000 | 1,194,000 | 1,180,000 | 1,281,000 | 1,208,000 | 1,041,000 | 未定 |
| 旅館(軒) | 9 | 8 | 20 | 21 | 20 | 18 | 18 | 18 | 17 | 17 | |
| 民宿(軒) | — | 51 | 200 | 250 | 263 | 270 | 270 | 276 | 270 | 250 | |
| 貸家貸間(軒) | 60 | 108 | 250 | 120 | 110 | 110 | 120 | 120 | 117 | 107 | |
| 海の家(軒) | 10 | 26 | 33 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 32 | 31 | |
| 駐車場数 (有料) | — | 1,307 | 12,512 | 15,151 | 14,406 | 15,379 | 19,692 | 19,144 | 18,018 | 20,180 | |
| 御宿駅の取入 (夏季千円) | 9,996 | 19,591 | 51,389 | 74,019 | 74,774 | 89,386 | 104,389 | 99,996 | 89,195 | 99,930 | |
| 観光取入 (推計千円) | 185,650 | 249,300 | 369,600 | 942,480 | 753,980 | 780,000 | 1,536,200 | 1,834,800 | 1,850,805 | 未定 | |
| 町の観光投入額 (千円) | 830 | 4,230 | 56,000 | 12,504 | 13,468 | 14,445 | 83,586 | 32,000 | 20,968 | 29,159 | |

●工業の推移 (工業統計調査)

(万円)

| 区分 年度別 | 事業所数 | 従業者数 (人) | | | 現金給与総額 | 製造品出荷額等 | 従業者1人 当り出荷額 |
|-----------|------|----------|------------|---------------|--------|---------|----------------|
| | | 計 | 常用 労働者数 | 業主及び 家族従業者 | | | |
| 30 | 58 | 226 | 121 | 105 | — | 23,196 | 102 |
| 35 | 60 | 351 | 258 | 93 | — | 25,715 | 73 |
| 40 | 50 | 470 | 399 | 71 | — | 51,690 | 110 |
| 45 | 51 | 832 | 769 | 63 | 25,189 | 113,663 | 137 |
| 50 | 49 | 615 | 555 | 60 | 40,747 | 128,696 | 209 |
| 51 | 48 | 597 | 542 | 55 | 49,402 | 147,332 | 247 |
| 52 | 49 | 575 | 518 | 57 | 50,734 | 166,545 | 290 |
| 53 | 47 | 538 | 484 | 54 | 54,470 | 167,359 | 311 |
| 54 | 54 | 598 | 539 | 59 | 63,156 | 197,209 | 329 |
| 55 | 56 | 616 | 564 | 52 | 74,405 | 189,874 | 308 |

●業種別商店数など (昭和54年商業統計より)

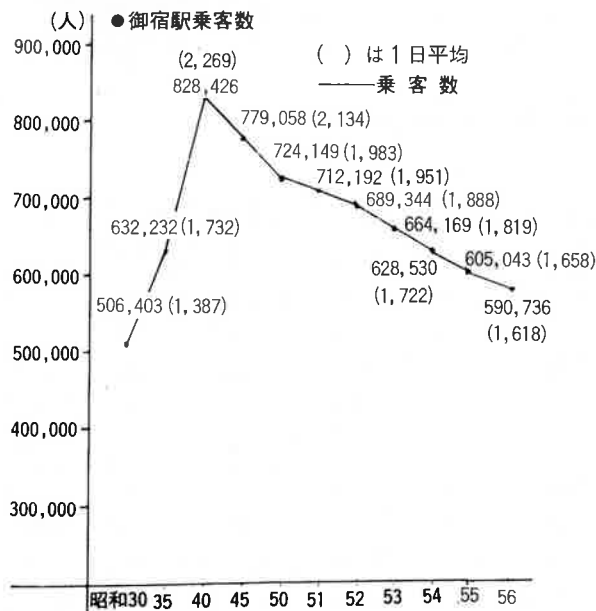
(万円)

| 対象業種 () | 商店数 | 従業者数 | 売場面積 (平方メートル) | 年間 販売額 | 商品 手持額 | 修理料 サービス 料収入 |
|----------------|-----|------|------------------|-----------|-----------|--------------------|
| 一般卸売業 | 14 | 67 | — | 202,708 | 10,140 | 203 |
| 代理商仲立業 | — | — | — | — | — | — |
| 織物・衣服・身の廻り品小売業 | 18 | 54 | 966 | 33,564 | 8,097 | 81 |
| 飲食料品小売業 | 83 | 198 | 3,044 | 169,279 | 9,448 | — |
| 自転車荷車小売業 | 5 | 9 | 198 | 4,704 | 1,176 | 451 |
| 家具建具・什器小売業 | 15 | 50 | 706 | 32,135 | 5,052 | 1,096 |
| その他の小売業 | 37 | 123 | 1,244 | 127,922 | 16,808 | 1,946 |
| 総数 | 172 | 501 | 6,158 | 570,312 | 50,721 | 3,777 |
| 飲食店 | 67 | 318 | — | 47,748 | — | — |

●商業の推移 (商業統計調査)

(万円)

| 区分 年度別 | 商店数 | 売場面積 (㎡) | 従業者数 | 年間 販売額 | 商品 手持額 |
|-----------|-----|-------------|------|-----------|-----------|
| 47 | 191 | 7,089 | 573 | 256,701 | 22,794 |
| 49 | 200 | 5,632 | 553 | 328,394 | 29,407 |
| 51 | 199 | 5,739 | 560 | 465,271 | 40,153 |
| 54 | 239 | 6,158 | 819 | 618,060 | 50,721 |



●自動車保有台数 (56. 4. 1)

| 車種 | 御宿町 | 夷隅郡市計 |
|------|-------|--------|
| トラック | 300 | 4,160 |
| 貨客 | 257 | 2,876 |
| バス | 24 | 175 |
| 普通乗用 | 33 | 319 |
| 小型乗用 | 1,373 | 16,186 |
| 三輪 | — | 1 |
| 特殊 | 8 | 211 |
| 計 | 1,995 | 23,928 |

●電話加入状況

(56. 12. 31現在)

| 年次 | 開 通 加 入 電 話 数 | | | | | | | | | 公衆電話 |
|----|---------------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|------|
| | 総 数 | | | 単 独 電 話 数 | | | 共 同 電 話 数 | | | |
| | 総 数 | 事 務 用 | 住 宅 用 | 総 数 | 事 務 用 | 住 宅 用 | 総 数 | 事 務 用 | 住 宅 用 | |
| 32 | 184 | 180 | 3 | 180 | 180 | — | — | — | — | 1 |
| 39 | 335 | 269 | 55 | 271 | 221 | 39 | 64 | 48 | 16 | 11 |
| 50 | 2,125 | 994 | 1,131 | 1,888 | 918 | 970 | 237 | 76 | 161 | 56 |
| 55 | 2,879 | 1,103 | 1,776 | 2,689 | 1,047 | 1,642 | 190 | 56 | 134 | 56 |
| 56 | 2,955 | 1,137 | 1,818 | 2,770 | 1,082 | 1,688 | 185 | 55 | 130 | 56 |

建設

●建築届出件数の推移

| 区分年 | 専 用 住 宅 | 旅館店舗簡易宿泊所 | 共 同 住 宅 | 併 用 住 宅 | 工 場 倉 庫 | その他 | 計 |
|-----|---------|-----------|---------|---------|---------|-----|-----|
| 47 | 83 | 6 | 1 | 7 | 1 | 9 | 107 |
| 48 | 60 | 9 | 1 | 5 | 2 | 8 | 85 |
| 49 | 78 | 9 | 0 | 3 | 0 | 9 | 99 |
| 50 | 55 | 6 | 1 | 3 | 1 | 7 | 73 |
| 51 | 57 | 2 | 0 | 2 | 0 | 5 | 66 |
| 52 | 57 | 5 | 10 | 4 | 1 | 7 | 84 |
| 53 | 101 | 2 | 2 | 8 | 8 | 16 | 137 |
| 54 | 84 | 6 | 0 | 17 | 4 | 10 | 121 |
| 55 | 68 | 10 | 2 | 10 | 6 | 7 | 103 |

●町道の内訳

(56. 4. 1)

| 項 目 | | 数 値 |
|-----|---------------------------|-----------|
| 道 | 実 延 長 (m) | 256,058.7 |
| | 面 積 路 面 (m ²) | 664,928 |
| | 改 良 済 延 長 (m) | 35,132.2 |
| | 舗 装 済 延 長 (m) | 50,345.6 |
| | 自動車交通不能道延長(m) | 201,282.5 |
| | 歩 道 延 長 (m) | 4,900 |
| | 防 護 柵 延 長 (m) | 5,200 |
| 路 | 歩 道 橋 (m) | 2ヶ所27 |
| | 市町村道と鉄道との交差箇所数 | 6 |
| | うち立体交差箇所数 | 4 |
| の内訳 | 1.5 m 以上 4.5 m 未満(m) | 219,194.5 |
| | 4.5 m 以上 (m) | 36,864.2 |
| | 計 | 256,058.7 |

●林道の現況

| 項 目 | | 本数 | 数 値 |
|-----------|-------|----|--------|
| 林業施設 | 市町村 | 14 | 12,554 |
| | 国 有 | | |
| | そ の 他 | | 12,554 |
| | 計 | 14 | 12,554 |
| 林野面積 (ha) | | | 545 |

●道路の現況

| 路 線 名 | | 単位 | 町 道 | 県 道 | 国 道 | 計 |
|-----------|-----------------|----|-----------|--------|--------|-----------|
| 路 線 数 | 路 線 数 | 本 | 2,459 | 4 | 1 | 2,464 |
| | 実 延 長 | m | 256,058.7 | 11,720 | 3,755 | 271,533.7 |
| 内 訳 | 改 良 済 延 長 | m | 35,132.2 | 10,900 | 3,755 | 49,787.2 |
| | 未 改 良 延 長 | m | 220,926.5 | 820 | 0 | 221,746.5 |
| 内 種 別 | 橋 梁 延 長 | m | 79ヶ所471.9 | 8ヶ所119 | 1ヶ所 14 | 38ヶ所604.9 |
| | 隧 道 延 長 | m | 15ヶ所699.0 | 2ヶ所109 | 6ヶ所382 | 23ヶ所1,190 |
| 幅 員 別 内 訳 | 改 良 7.5 m 以 上 | m | 7,918.8 | 917 | 3,755 | 12,590.8 |
| | 5.5 m 以 上 | m | 20,155.3 | 6,651 | — | 26,806.3 |
| | 4.5 m 以 上 | m | 7,058.1 | 3,332 | — | 10,390.1 |
| | 未 改 良 4.5 m 以 上 | m | 1,732.0 | 113 | — | 1,845.0 |
| | 3.5 m 以 上 | m | 17,912.0 | — | — | 17,912.0 |
| | 3.5 m 未 満 | m | 201,282.5 | 707 | — | 201,989.5 |
| | 自 動 車 交 通 不 能 | m | 201,282.5 | — | — | 201,282.5 |
| 路 面 別 内 訳 | 砂 利 道 | m | 205,713.1 | 439 | — | 206,152.1 |
| | セメント系 | m | — | 123 | — | 123.0 |
| | 舗装 アスファルト系 | m | — | 7,121 | 3,755 | 10,876 |
| | 舗装 ト系 簡易 | m | 50,345.6 | 4,037 | — | 54,382.6 |
| | 道 計 | m | 256,058.7 | 11,720 | 3,755 | 271,533.7 |

●町営住宅建設の推移

| 建築年次 | 住宅、団地名 | 戸数 | 面積 | 構造 |
|------|---------|----|---------|---------------------|
| 昭和30 | 新町住宅 | 20 | 627㎡ | 木造瓦葺平家建1戸建 |
| 31 | // | 20 | 627 | // |
| 32 | 須賀住宅 | 20 | 627 | // |
| 33 | // | 20 | 627 | 簡易耐火平屋1棟2戸建 |
| 34 | 六軒町住宅 | 20 | 627 | // |
| 35 | // | 20 | 627 | // |
| 40 | 岩和田漁民住宅 | 24 | 1,190.4 | 簡易耐火2階1棟6戸建 |
| 44 | 久保富士浦団地 | 10 | 318.2 | 木造瓦葺平家1戸建 |
| 48 | 教職員住宅 | 3 | 120.55 | 軽量鉄骨(プレハブ)1戸建40.15㎡ |
| 52 | 矢田団地 | 20 | 1,143 | 簡易耐火2階1棟2戸建 |

●町道の延長面積

| 総数 | | 舗装道 | 砂利道 |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 延長 | 面積 | 延長 | 延長 |
| 256,058.7 | 1139,445 | 50,345.6 | 205,713.1 |

防災・防犯

●消防団

| 団長 | 副団長 | 分団長 | 副分団長 | 部長 | 班長 | 団員 | 合計 |
|----|-----|-----|------|----|----|-----|-----|
| 1 | 2 | 16 | 8 | 9 | 49 | 180 | 265 |

●火災事故発生件数

| 年次 | 火災件数 | | | | 焼失面積(㎡) | | 損害額(千円) |
|----|------|----|------|-----|---------|-------|---------|
| | 総数 | 建物 | 山林原野 | その他 | 建物 | 山林その他 | |
| 40 | 2 | 2 | 0 | 0 | 164 | 0 | 1,730 |
| 50 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 51 | 1 | 1 | 0 | 0 | 121 | 0 | 3,300 |
| 52 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 53 | 1 | 1 | 0 | 0 | 37.19 | 0 | 14,410 |
| 54 | 1 | 1 | 0 | 0 | 231 | 0 | 3,600 |
| 55 | 1 | 1 | 0 | 0 | 281 | 0 | 9,960 |
| 56 | 1 | 1 | 0 | 0 | 59 | 0 | 5,000 |

●大地震・風水害等の避難場所

| | | |
|------------|------------|---------|
| (1) 御宿小学校 | 御宿町久保2085 | 23,819㎡ |
| (2) 御宿中学校 | // 新町68 | 27,484 |
| (3) 岩和田小学校 | // 岩和田1075 | 5,448 |
| (4) 御宿町役場 | // 久保2200 | 10,581 |
| (5) 布施小学校 | // 上布施909 | 12,638 |
| (6) 実谷区民館 | // 実谷589 | 1,177 |
| (7) 岩和田青年館 | // 岩和田788 | 11,250 |
| (8) 八坂神社 | // 須賀525 | 2,006 |
| (9) 御宿家政高校 | // 久保1551 | 26,582 |

●交通事故発生件数の推移

| 年度 | 発生件数 | 死者数 | 負傷者数 |
|----|------|-----|------|
| 30 | 6 | 1 | 5 |
| 39 | 22 | 0 | 28 |
| 49 | 42 | 2 | 62 |
| 50 | 24 | 1 | 29 |
| 51 | 30 | 2 | 37 |
| 52 | 30 | 0 | 34 |
| 53 | 36 | 2 | 63 |
| 54 | 43 | 2 | 56 |
| 55 | 35 | 1 | 56 |
| 56 | 34 | 3 | 44 |

●消防の施設状況

| | |
|----------|----|
| 消防ポンプ車 | 7 |
| 水そう付ポンプ車 | 1 |
| 小型ポンプ | 3 |
| 指揮広報車 | 1 |
| 消火水そう | 72 |
| 消火栓 | 46 |

●被災危険箇所

| 危険箇所数 | がけ崩れ 隣道 | 11ヶ所 2ヶ所 | 212世帯 |
|--------|---|--|-------|
| 浸水危険箇所 | 新町 // // 岩和田 須賀 浜 高山田 | 御宿中学校前 天の守下 黒田石綿周辺 入宿 駅前より須賀三角間 鶴寿司周辺 須賀・島田宅周辺 | |

教育・社会教育

●公民館、資料館利用状況 (人)

| 年度 | 公民館 | | 資料館 | |
|----|------|--------|------|--------|
| | 一日平均 | 年間利用者数 | 一日平均 | 年間利用者数 |
| 54 | 84.2 | 24,838 | 8.3 | 2,440 |
| 55 | 99.1 | 29,238 | 8.2 | 2,405 |

●町立小学校の児童・教職員数 () はうち特殊 (56. 5)'

| 学校名 | 児童数 | 学級数 | 教員数 | 事務職員 栄養職員 | 調理員 | 用務員 |
|------|---------|--------|-----|--------------|-----|-----|
| 御宿小 | 462 (2) | 13 (1) | 18 | 2 | 4 | 1 |
| 岩和田小 | 160 (3) | 7 (1) | 13 | 1 | 2 | 1 |
| 布施小 | 180 (3) | 7 (1) | 11 | 1 | 0 | 1 |
| 計 | 802 (8) | 27 (3) | 42 | 4 | 6 | 3 |

●児童・生徒数の推移

| 年度 | 区分 | 児童生徒数 | | |
|----|----|-------|-------|-----|
| | | 総数 | 小学校 | 中学校 |
| 30 | | 2,063 | 1,659 | 404 |
| 35 | | 2,297 | 1,627 | 670 |
| 40 | | 1,828 | 1,153 | 675 |
| 50 | | 1,220 | 848 | 372 |
| 55 | | 1,179 | 814 | 365 |

●町立中学校・県立高校の生徒、教職員数 () はうち特殊 (56. 5)

| 学校名 | 生徒数 | 学級数 | 教員数 | 事務職員 | 調理員 | 用務員 |
|------------|---------|--------|-----|------|-----|-----|
| 御宿中学校 | 368 (6) | 10 (1) | 20 | 1 | 4 | 1 |
| 県立御宿家政高等学校 | 402 | 9 | 29 | 3 | 0 | 4 |

●中学校卒業生進路状況

| 卒業年度 | 高校進学 | | 就職 | | 各種学校 | | 計 |
|--------|------|----|-----|----|------|---|-----|
| | 進学者数 | % | 就職数 | % | 人数 | % | |
| 35 | 71 | 51 | 66 | 48 | 2 | 1 | 139 |
| 45 | 130 | 72 | 42 | 23 | 8 | 5 | 180 |
| 50 | 116 | 88 | 10 | 8 | 6 | 4 | 132 |
| 51 | 108 | 91 | 7 | 6 | 4 | 3 | 119 |
| 52 | 110 | 90 | 12 | 10 | 0 | 0 | 122 |
| 53 | 124 | 95 | 7 | 5 | 0 | 0 | 131 |
| 54 | 126 | 88 | 17 | 12 | 0 | 0 | 143 |
| 55 | 112 | 92 | 7 | 6 | 3 | 2 | 122 |
| 56 (推) | 108 | 94 | 7 | 6 | 0 | 0 | 115 |

●御宿家政高等学校卒業生数

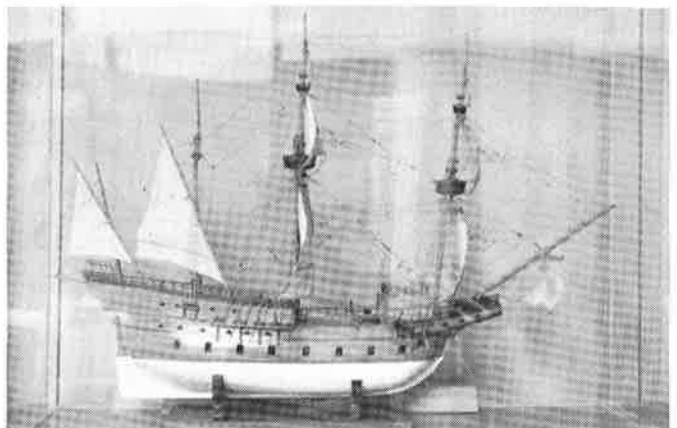
| 卒業年度 | 大学進学 | | 就職 | | 学種学校 | | 家事手伝 | | 計 |
|--------|------|----|-----|----|------|----|------|---|-----|
| | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | |
| 50 | 17 | 13 | 89 | 68 | 25 | 19 | 0 | 0 | 131 |
| 51 | 12 | 9 | 88 | 66 | 29 | 22 | 4 | 3 | 133 |
| 52 | 10 | 8 | 101 | 76 | 20 | 15 | 1 | 1 | 132 |
| 53 | 6 | 5 | 104 | 81 | 18 | 14 | 0 | 0 | 128 |
| 54 | 14 | 12 | 83 | 63 | 31 | 24 | 3 | 1 | 131 |
| 55 | 8 | 6 | 70 | 56 | 41 | 33 | 6 | 5 | 125 |
| 56 (推) | 12 | 9 | 72 | 56 | 39 | 30 | 7 | 5 | 130 |

●指定文化財一覧

| 種 別 | 文 化 財 | 指 定 年 月 日 | 所 在 地 | 管 理 者 |
|-------|--------------|--------------|---------|-------|
| 記 念 物 | ドンロドリゴ上陸地 | 県指定41. 12. 2 | 岩和田626 | 御宿町 |
| 有形文化財 | ドンロドリゴ関係遺品 | 町指定49. 3. 29 | 久保1916 | 岩瀬禎之 |
| 〃 | サンフランシスコ号キール | | | |
| 〃 | 木造阿弥陀如来像 | 〃 〃 〃 | 浜572-1 | 妙音寺 |
| 〃 | 亀甲地双鶴 | 〃 〃 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 白銅鏡 | 〃 〃 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 木造大日如来座像 | 〃 〃 〃 | 上布施1474 | 真常寺 |
| 〃 | 木造如意輪観音座像 | 〃 〃 〃 | 〃 | 〃 |
| 〃 | 十王堂縁起 | 〃 〃 〃 | 六軒町区 | 十王寺 |
| 記 念 物 | 夫婦銀杏 | 〃 53. 3. 27 | 須賀668 | 最明寺 |
| 〃 | 太ソテツ | 〃 〃 | 須賀160-4 | 御宿町 |
| 有形文化財 | 双盤 | 〃 54. 6. 27 | 須賀668 | 最明寺 |



B & G 御宿海洋センター



サンフランシスコ号当時のガレオン船 (歴史民族資料館展示)

年金・保険・衛生

●国民健康保険加入者及び給付の状況

| | 加入者 | | | 給付 | |
|------|-------|-------|-------|---------|--------|
| | 世帯 | 加入者 | 加入率 | 給付額(千円) | 増加率 |
| 32年度 | 1,518 | 7,290 | 72.9% | 9,460 | — |
| 50 | 1,681 | 5,402 | 63.0% | 249,287 | 2535.2 |
| 51 | 1,646 | 5,188 | 61.0% | 286,407 | 14.8 |
| 52 | 1,616 | 5,83 | 59.3% | 325,598 | 13.7 |
| 53 | 1,627 | 5,032 | 59.2% | 380,429 | 16.8 |
| 54 | 1,636 | 4,921 | 57.8% | 411,775 | 8.2 |
| 55 | 1,617 | 4,793 | 55.1% | 414,182 | 5.8 |

●定期健康診断・予防接種の状況

| 区分 | 昭和54年度 | 昭和55年度 |
|----------|--------|--------|
| ジフテリア | 135 | 123 |
| 破傷風 | | |
| ジフテリア | | |
| 百日咳 | 252 | 288 |
| 小児マヒ・生ワク | 189 | 153 |
| 日本脳炎 | 529 | 385 |
| インフルエンザ | 2,075 | 2,700 |
| 風しん | 27 | 26 |
| はしか | 70 | 98 |

国民年金受給者の状況

●福祉年金(円)

| 年度 | 老 齢 | | 障 害 | | 合 計 | |
|----|-----|-------------|-----|------------|-----|-------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 55 | 521 | 121,674,850 | 59 | 22,710,033 | 580 | 144,384,883 |
| 54 | 579 | 113,535,039 | 62 | 22,240,500 | 641 | 135,775,539 |
| 53 | 602 | 102,837,663 | 62 | 18,574,500 | 664 | 121,412,163 |
| 52 | 617 | 90,205,663 | 60 | 16,723,100 | 677 | 106,928,763 |
| 51 | 646 | 91,895,584 | 59 | 13,256,800 | 705 | 105,152,384 |

●拠出年金(円)

| | 老 齢 年 金 | | 通 算 老 齢 年 金 | | 障 害 年 金 | | 母 子 年 金 | | 遺 児 年 金 | | 募 婦 年 金 | | 合 計 | | 被 保 険 者 数 |
|----|---------|-------------|-------------|-----------|---------|------------|---------|------------|---------|-----------|---------|---------|-----|-------------|-----------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | |
| 55 | 842 | 215,727,000 | 71 | 6,463,100 | 31 | 18,559,200 | 17 | 11,047,200 | 3 | 1,284,000 | 1 | 170,500 | 965 | 253,251,000 | 2,812 |
| 54 | 768 | 182,235,000 | 57 | 4,655,100 | 29 | 16,491,000 | 17 | 8,294,000 | 1 | 478,000 | 1 | 140,000 | 873 | 212,293,100 | 2,928 |
| 53 | 696 | 157,896,900 | 55 | 4,941,500 | 26 | 14,209,100 | 16 | 7,609,600 | 2 | 327,200 | 2 | 254,100 | 797 | 185,238,400 | 3,026 |
| 52 | 628 | 134,141,700 | 39 | 3,503,100 | 24 | 12,346,200 | 21 | 9,346,800 | — | — | 1 | 93,900 | 713 | 159,431,700 | 3,055 |
| 51 | 561 | 108,730,500 | 30 | 2,612,600 | 23 | 10,791,000 | 18 | 7,353,600 | — | — | 1 | 85,800 | 633 | 129,573,500 | 3,135 |

●し尿処理施設

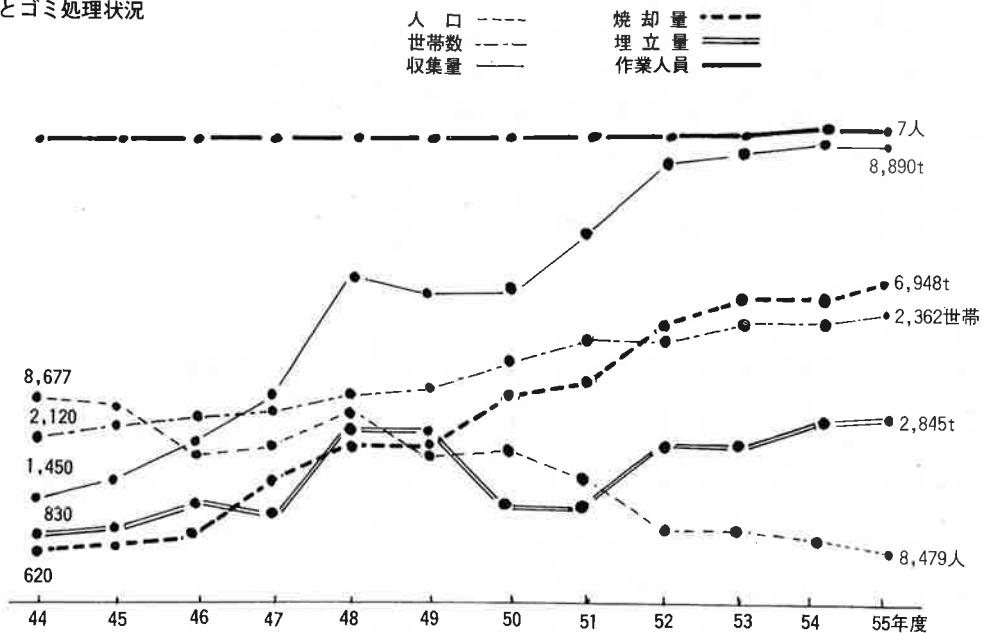
| | | |
|------------|-----------|-------|
| 処理計画人口 (人) | 8,479 | |
| 処理人口 (人) | 8,479 | |
| 年間総排出量 (ℓ) | 3,810 | |
| 年間総収集量 (ℓ) | 0 | |
| 年間総処理量(ℓ) | 下水マンホール投入 | 0 |
| | 処理施設処理 | 3,810 |
| | その他 | 0 |
| | 計 | 3,810 |
| 収集職員数 (人) | 6 | |
| パキューム車 | 2 | |

●ごみ処理施設

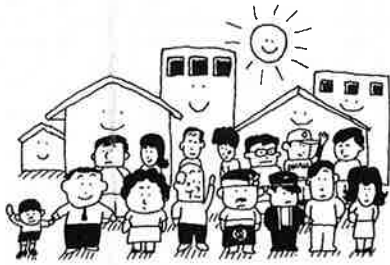
| | | |
|-------------|-----------|------|
| 処理計画人口 (人) | 8479 | |
| 処理人口 (人) | 8479 | |
| 年間総排出量 (t) | 9450 | |
| 年間総収集量 (t) | 8890 | |
| 年間総処理量(t) | 焼却処理等 | 6948 |
| | 高速堆肥化处理 | |
| | 埋立処理 | 2845 |
| | その他 | 1942 |
| 計 | 8890 | |
| 焼却処理稼働日数 | 286 | |
| 高速堆肥化处理稼働日数 | | |
| 収集能力 | 収集職員数(人) | 4 |
| | 特殊運搬車 | 1 |
| | 運搬車 | 2 |
| 計 | 3 | |
| 処理能力(t) | 処理場職員数(人) | 3 |
| | 焼却処理 | 10 |
| | 高速堆肥化处理 | |
| 計 | 10 | |
| 自家処理量 (t) | 560 | |



●人口とゴミ処理状況



御宿町くらしのダイジェスト



人口 8,398人 人口密度 1 km²当り 335人(56.12.31)



世帯人口 1世帯に3.4人



結婚 2日に1組



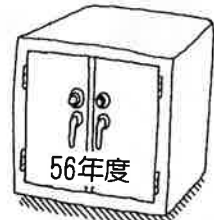
離婚 19日に1組



転入 1日に0.9人



転出 1日に1人



町当初予算1人につき
165,714円



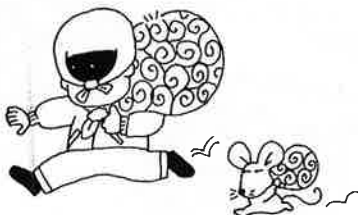
出生 5.3日に1人



死亡 3.1日に1人



地方税 1人につき
45,823円(55年度決算)



窃盗犯 10日に1件



交通事故 10.7日に1件



官公庁・学校・各種団体一覧

| | | | |
|----|------------|---------|------|
| 1 | 役場 | 久保2200 | 2511 |
| 2 | 焼却場 | 久保1041 | 4613 |
| 3 | 浄水場 | 実谷 519 | 4885 |
| 4 | 公民館 | 久保2200 | 2947 |
| 5 | 歴史民族資料館 | 久保2200 | 4311 |
| 6 | 社会福祉センター | 久保2200 | 2511 |
| 7 | 御宿町児童館 | 新町 419 | 4542 |
| 8 | 岩和田児童館 | 岩和田 788 | 4392 |
| 9 | 御宿保育園 | 久保2180 | 2459 |
| 10 | 岩和田保育園 | 岩和田 926 | 2944 |
| 11 | 御宿小学校 | 久保2232 | 2009 |
| 12 | 岩和田小学校 | 岩和田1703 | 2254 |
| 13 | 布施小学校 | 上布施 909 | 2437 |
| 14 | 御宿中学校 | 新町 68 | 2101 |
| 15 | 県立御宿家政高等学校 | 久保1551 | 2911 |
| 16 | 駅前駐在所 | 須賀 188 | 2100 |
| 17 | 六軒町駐在所 | 六軒町 488 | 2719 |
| 18 | 布施駐在所 | 上布施 875 | 4499 |
| 19 | 御宿駅 | 須賀 | 2053 |
| 20 | 御宿郵便局 | 新町 397 | 2871 |
| 21 | 布施郵便局 | 上布施1400 | 2870 |
| 22 | 運輸省御宿航空標識所 | 岩和田 789 | 2654 |
| 23 | 御宿漁業協同組合 | 浜 2164 | 2611 |
| 24 | 岩和田漁業協同組合 | 岩和田 945 | 2011 |
| 25 | 夷隅中央農協御宿支所 | 須賀 167 | 2424 |
| 26 | 御宿町観光協会 | 久保2200 | 2947 |
| 27 | 御宿町体育協会 | 久保2200 | 2947 |
| 28 | 御宿町商工会 | 久保2200 | 2818 |
| 29 | 御宿町商店振興会 | 久保2200 | 2818 |
| 30 | 御宿町婦人会 | 久保2200 | 2947 |
| 31 | 御宿町民宿組合 | 須賀 191 | 2325 |
| 32 | 御宿町旅館組合 | 須賀 191 | 4419 |

夷隅開発
A地区開発
リゾートタウン

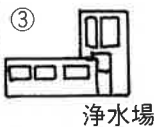
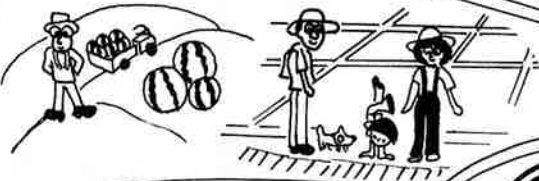
至大多喜

ゴルフ場

御宿町イラストマップ

THE MAP C

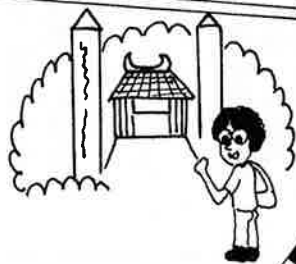
15



浄水場



19
31
32
9
11
6
28
4
26
29
1
5
27
30



ダム



町営プール

月の砂漠記念像

中央海水浴場

浜海水浴場

網代湾



御宿漁港

至勝浦

至勝浦

御宿の唄

御宿ブルース

作詩 古谷玲児
作曲 八州秀章
唄 すすらん姉妹

一 あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしゃ 紺がすり
忘れられよか 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町

二 星の数ほど 寄せては返す
色もとどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚
夢の御宿 海女の町 海女の町

三 月のあかりに 二人の胸に
乱れ咲く花 月見草
行こか砂丘へ 戻ろか宿へ
夢の御宿 恋の町 恋の町

回想譜

作詩 今城靖児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

一 星みれば はろかに香く
雲みれば つきせぬ想い
去りゆきし 君は詰わねど
御宿の ああ 海の恋しさ

二 風吹けば 風もさびしや
虫鳴けば 虫もわびしや
ただひとり 山荘にあれば
堪えがたく ああ 涙ながるる

三 朝には あしたの祈り
夕には ゆうべの願い
嫁ぎゆく 妹にのみ
いまはただ ああ 幸をこのみ

房州御宿音頭

房州 御宿宝の庫よ

ハソリヤ ドウシタ ドウシタ
海に銀鱗 海に鱗 田に黄金
ハソリヤ ヤツサイ

ヤツサイ ドントネ

房州御宿 網代の浜は
銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜
潮は黒潮 流れて巻いて
風は汐風 風は汐風 恋の風

あんな男を梶子にもつて
ぬれて苦労が ぬれて苦労が
してみたい

お前や水底 わしや風の中
つなは一筋 つなは一筋
血が通う

板子一枚といはせぬが
ぬれるお前が ぬれるお前が

いとおしい

房州御宿旅立つ朝は
雨も降らぬに 雨も降らぬに
袖しぼる

舟は帆まかせ 帆は風まかせ
わたしやお前の わたしや
お前の つなまかせ

御宿囃し

作詩・作曲 加藤まさを
編曲 吉野達弥
唄 中里このえ

一 ドンとドンとドンと男波が躍る
躍る男波に抱かれて歌う
女波いとしゃ月夜の晩は
御宿囃して浮かれ出す

二 山にや名物メキシコタワー
浜の砂丘にや王子と姫が
月の沙漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿

三 磯の華かよ岩和田の海女は
浮いて沈んで浮いて
浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に

四 昼は砂丘に浜屋顔が
夜は砂丘に宵待草が
粹な浜風花から花に

若い二人の燃える頬に

五 椰子の葉蔭で佳い夢見たよ
野暮なトウロク 磯パン無しの
可愛い人魚が蠟燭若で
忘れちゃおえねえ まだ来てね

月の沙漠

作詩 加藤まさを
作曲 佐々木すくも

一 月の沙漠を はるばると
旅のらくだが 行きました
金と銀との くらおいて
二つならんで 行きました

二 金のくらは 銀のかめ
銀のくらは 金のかめ
一つのかめは それぞれに
ひもでむすんで ありました

三 先のくらは 王子さま
あとのくらは お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白上衣を 着てました

四 広い沙漠を ひとすじに
ふたりはどこへ 行くのでしよう
おぼろにけがる 月の夜を
ついのらくだは とぼとぼと
砂丘を越えて 行きました
だまつて越えて 行きました